Netcommunity SYSTEM αGX

ディジタルシステム コードレス電話機

取扱説明書

このたびは、ネットコミュニティシステムαGXディジタルシステムコードレス電話機をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。

技術基準適合認証品

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

ご使用にあたってのお願い

- 本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。本商品は、オフィス環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
  This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信、録音などの機会を逸したために生じた損害、または本商品に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。
- 本商品は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本商品内に保存または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に保存または保持された情報を取扱説明書の消去方法（☛P79、85、88）にしたがって消去願います。
- 主装置や電話機を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。分解・改造は法律により禁止されています。
- この取扱説明書とともに、必ずご使用になっているネットコミュニティシステム取扱説明書をよく読み理解したうえでお使いください。
- 本商品の外観および機能などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。
- 使用済の電池パックなどは貴重な資源です。使用後は端子や接続コードが接触しないように、端子や接続コードにテープを貼るなどの処置をしてから当社のサービス取扱所などへお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。リサイクルの推進にご協力をお願いします。

⚠危険

- 電池パックの充電は、本商品に装着し専用の充電器を使用して行ってください。その他の充電条件で充電すると、電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

- 電池パックは、プラス（赤）・マイナス(黒)の向きが決められています。本商品に接続するときは、コネクタの向きを確かめて正しく差し込んでください。まちがった接続をすると、電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

- 電池パックを単体では充電しないでください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

- 電池パックは、本商品専用です。本商品以外の機器で使用すると、電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

- 電池パックを使用する場合は、以下のことを必ず守ってください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
  - ・火の中に投入したり、加熱しない。
  - ・直接はんだ付けしない。
  - ・プラス(赤)・マイナス（黒）を針金などの金属類で接触しない。
  - ・電池カバーを取り付けるとき、電池パックのコードを挟まない。
  - ・外装チューブ（被覆）をはがしたり、傷つけない。
  - ・水や海水につけたり、ぬらさない。

- 電池パックを分解、改造しないでください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

- 電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

設置について

⚠警告

● 本商品のそばに、水や液体の入った花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品に水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。

● 本商品を次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

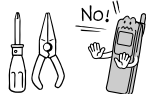
- 直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーなどの近くや屋外などの温度の上がる場所。
- 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所。
- 湿気の多い場所や水･油･薬品などのかかる恐れがある場所。
- ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所。
- 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。

お取り扱いについて

⚠警告

● 電源は、ＡＣ１００ Ｖの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態が発生した場合、そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品の充電をやめ、充電器の電源プラグを電源コンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

● 本商品を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください（分解、改造された主装置は修理に応じられない場合があります）。

● 本商品や充電器に水をかけたり、ぬれた手での操作や電源プラグの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

⚠警告

● 本商品のすきまなどから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、本商品の充電をやめ、充電器の電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

● 充電器の電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源コードが傷んだら、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

● テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● 充電器の電源コードが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品の電源スイッチを切り、充電器の電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

● 万一、本商品を落としたり、本商品内部に水などの液体が入った場合、すぐに本商品の充電をやめ、充電器の電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

● 電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、直ちにきれいな水で洗い流してください。

● 本商品から異常音がしたり、熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品の充電をやめ、充電器の電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に点検をご依頼ください。

● 充電器の電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠警告

●充電器の充電端子部分に指輪やクリップなどの金属類を置かないでください。金属類が熱くなり、火災・やけどの原因となることがあります。

●自動車などの運転中に、絶対に本商品を操作したり、見たりしないでください。交通事故の原因となることがあります。

●歩行中に、絶対に本商品を操作したり、見たりしないでください。転倒、交通事故などの原因となることがあります。

●本商品をねじったり、重い物をのせたり、強く押しつけたりして、圧迫しないでください。破損して、火災・やけど・けがの原因となることがあります。

●本商品や電話機コード類を熱器具に近づけないでください。本商品や電話機コード類の被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

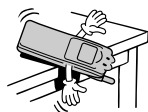
●本商品は、航空機内や病院内などの使用を禁止された区域では、電源を切るか持ち込まないでください。電子機器や医療機器に影響を与え事故の原因となることがあります。

●近くに雷が発生したときは、すぐに充電器の電源プラグを電源コンセントから抜き、ご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります。

●充電器の電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。

設置について

⚠注意

● 本商品は次のような場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- ・ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所。
- ・振動、衝撃の多い場所。

お取り扱いについて

● 本商品の上に重い物をのせないでください。バランスがくずれて落下やけがの原因となることがあります。

● 充電器の底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

● 本商品を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず充電器の電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

● 本商品や充電器をお手入れするときは、安全のため必ず充電器の電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。

● 本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。

● 本商品は高度な技術によって構成された精密機器です。より安心して使用していただくためには、当社の定期点検をお受けすることをお勧めします。詳しくは、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

設置について

●本商品を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、インバータエアコン、電磁調理器など）。

・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
・放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、電話機などの設置場所を移動してみてください。

●硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。

●金属製家具などの近くへの設置は避けてください。電波が飛びにくくなります。

●周囲の環境（壁、家具など）によっては使用範囲が狭くなります。

・本商品の液晶ディスプレイ上で電波の強さを確認して通話できる範囲を確かめてください。

●本商品を汚れやすいところに置かないでください。故障の原因となることがあります。

●本商品を設置するときは、以下の点に留意してください。

・ディジタルシステムコードレス接続装置とディジタルシステムコードレス電話機間、またはディジタルシステムコードレス電話機どうし間は3 m以上離してご使用ください。

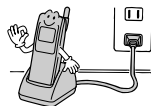
お取り扱いについて

お願い

●本商品をぬれたぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。

●本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

●停電のときは、停電用電話機を使用してください。自営モードでの本商品は使用できません。

●充電器の電源プラグを抜いたままにしないでください。
- 電池が消耗すると自営モードで本商品が使用できません。
- 本商品が充電できません。
- 本商品のクイック発信が設定されている場合、充電中に充電器の電源プラグが外れると、本商品はお話し中の状態となります（自営モードに限ります）。

●充電器にキャッシュカード、テレホンカードなどの磁気を利用したカード類を近づけないでください。カード類が使えなくなることがあります。

●本商品の電源はいつも「ON（入）」にしてください。「OFF（切）」になっていると、電話がかかってきても受けられません。お買い求め時は「OFF（切）」になっていますので、必ず「ON（入）」にしてからお使いください。

●本商品は充電を必要としますので、ご使用にならないときは、確実に充電器に置き、充電ランプの点灯を確認してください。

●ナンバー・ディスプレイのご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。

●ナンバー・ディスプレイを利用して着信拒否を設定している場合は、緊急の件でも着信音は鳴りませんのでご注意ください。

安全にお使いいただくためにお読みください

お願い

●本商品は、防水が施されていません。次のような使用はしないでください。
・ぬらさないでください。
・浴室で使用したり、水の中に浸けたりしないでください。
・水滴が付いた場合は、なるべく早く乾いた布などでふき取ってください。
・受話口や送話口の穴などに水滴がついたときは、水滴を取り除いてからお使いください。
・コードレス電話機に水滴が付いたまま、充電器に戻さないでください。
・ぬれたまま、0 ℃以下になる場所に放置しないでください。

●本商品は、ディジタル信号を利用した通話を傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法がとられた場合には、第三者が故意または偶然に通話を受信することも考えられます。この点に十分配慮してご使用ください。

PHSサービスを利用して警察（110）、消防（119）にかけるときには

●立ち止まっておかけください。
警察（110）、消防（119）へかけるときは、通話中にお話しが途切れることがないよう、立ち止まってご利用ください。

●通話終了後に電源を切らないでください。
警察（110）、消防（119）からの呼び出しができなくなります。

●PHSからの通話であることをお伝えください。
警察（110）、消防（119）での対応がスムーズに行えるよう、PHSからの通話であることをお伝えください。

●詳しくは各PHS事業者にお問い合わせください。

この取扱説明書の見かた

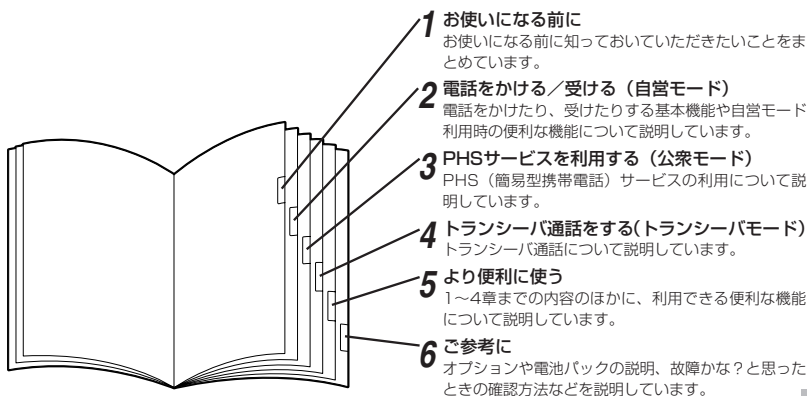
この取扱説明書は、ネットコミュニティシステムαGXシリーズ、ネットコミュニティシステムBXシリーズの内線電話機としてご利用になれるディジタルシステムコードレス電話機の機能を説明しています。各主装置の取扱説明書とあわせて参照してください。
なお、各主装置の取扱説明書を参照する際、各主装置の機能ボタンおよび設定ボタンなどを使う操作は、次のとおり読み替えてください。

標準電話機の操作	ディジタルシステムコードレス電話機の操作
設定ボタン	F ボタン、# マナー
機能ボタン	F ボタン、 F ボタン
短縮ボタン	F ボタン、9 ラ WXYZ
ワンタッチダイヤル（1～6）	F ボタン、1 ア ～ 6 ハ MNO
再送ボタン	F ボタン、7 マ PQRS
クリアボタン	F ボタン、8 ヤ TUV

この取扱説明書では、ご利用の主装置により異なるもの（ディジタルシステムコードレス電話機の液晶ディスプレイ表示や主装置に依存するボタン操作など）は、αGX typeLに接続した場合を例に記述しています。
また、
ネットコミュニティシステムBX-ISDN用主装置／アナログ用主装置　：BX-ME
ネットコミュニティシステムBX-ISDN用主装置内蔵電話機／アナログ用主装置内蔵電話機：BX-RM
と以下記述します。

＜例＞個別（自己専用）保留

標準電話機の操作	ディジタルシステムコードレス電話機の操作
①機能ボタンを押す ②保留ボタンを押す →個別（自己専用）保留となる	①通話中に、F ボタンを2回連続で押す ② 保留 ボタンを押す →個別（自己専用）保留となる

この取扱説明書の構成

この取扱説明書の見かた

操作説明ページの構成

章タイトル
章ごとにタイトルが付けられています。

タイトル
目的ごとにタイトルが付けられています。

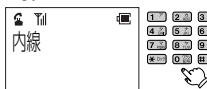
操作手順説明
順番に操作を説明しています。ディジタルシステムコードレス電話機で、クイック通話を設定していないときの状態で説明しています。

ワンポイント
知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明を示しています。

Q&A参照アイコン
第5章「Q&A」の同じアイコンの項に、説明や操作方法が書かれていることを示します。

モードのマーク
自営モードでのみ利用できる機能です。
公衆モード（PHSサービス）でのみ利用できる機能です。
トランシーバモードでのみ利用できる機能です。
＊モードのマークがないところは、すべてのモードで利用できます。

お願いまたはお知らせ
<お願い>
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
<お知らせ>
この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

<例>
3 会議招集番号（1ア 1ア【　　】）を押す。

特番（～用の番号）
各種機能を利用できるようにする番号です。
特番は「システム設定」で変更することもできます。
この取扱説明書では、特番について次のように表しています。
<例>
会議招集番号（1ア 1ア【　　】）

お買い求め時の番号

「システム設定」で変更した場合の番号を記入してください。

目　次

安全にお使いいただくために必ず
お読みください ・・・・・・・・・・・・2
この取扱説明書の見かた・・・・・・・・・11

1 お使いになる前に

特長・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
セットを確認してください・・・・・・・・17
各部の名前・・・・・・・・・・・・・・・・18
こんなときはご利用になれません・・・・21
ディジタルシステムコードレス電話機の
準備をします・・・・・・・・・・・・・22
電話機の現在の時刻を設定します・・・・28
電話機の受話音量を調節します・・・・・29
お話し中にスピーカ受話に切り替えます 30
電話機のスピーカ音量を調節します ・・・31
電話機の着信音量を調節します・・・・・32
電話機のメニュー機能を操作します ・・・33

2 電話をかける／受ける

自営モードとは・・・・・・・・・・・・・34
事業所（システム）を選択する ・・・35
最適な接続装置を選択します・・・・・・36
電話をかけるには（外線発信）・・・・・37
外線ボタンを押してかける ・・・・・37
電話番号を確認してからかける
（プリセットダイヤル）・・・・・・38
電話がかかってきたときは（外線着信）・・39
手に持ってお話しする ・・・・・・・39
電話番号を確認してから受ける ・・・39
発信者名が8文字（全角）以内の場合・・40
発信者名が8文字（全角）を超える場合・・40
相手の方に待っていただくには（保留）・・41
普通に保留する（共通保留）・・・・・41
他の電話機で取れないように保留する
（個別保留）・・・・・・・・・・・・・42
同じパーク保留ボタンを設定した
電話機で取れるように保留する
（パーク保留）・・・・・・・・・・・43
同じ相手にかけ直すには
（再ダイヤル）・・・・・・・・・・・・44
ワンタッチダイヤルを登録するには ・・・45
αGX typeLの場合・・・・・・・・・・45
αGX typeS/typeM、BX-MEの場合
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・46
ワンタッチダイヤルで電話をかけるには・・・47
ワンタッチダイヤルでかける ・・・・47
電話番号を確認してからかける
（プリセットダイヤル）・・・・・・47
短縮ダイヤルで電話をかけるには
（短縮ダイヤル）・・・・・・・・・・・48
共通短縮ダイヤルでかける ・・・・・48
共通短縮ダイヤルの電話番号を確認して
から電話をかける
（プリセットダイヤル）・・・・・・48
電話を取りつぐには（保留転送）・・・・49
内線でお話しするには（内線通話）・・・50
別の電話機で応対するには（代理応答）・・・51
プッシュホンサービスを利用するには
（DP→PB切替）・・・・・・・・・・・52
空いている外線を選んで電話をかけるには
（空き外線自動捕捉）・・・・・・・・53
外線発信 ・・・・・・・・・・・・・・53
自動発信可能な外線の中から選ぶ・・・53
索線ボタンを使って電話をかけるには ・・・54
外線発信 ・・・・・・・・・・・・・・54
外部スピーカで音声ページングするには・・55
サービス機能の登録状態を表示するには・・56
話中着信音を設定するには・・・・・・・57
話中着信音を設定する ・・・・・・・57
話中着信音を解除する ・・・・・・・57

目　次

3 PHSサービスを利用する

公衆モードの使いかた・・・・・・・・・・58
PHSサービスで利用できる機能　・・・・59
電話をかけるには（発信）・・・・・・・60
電話をかける　・・・・・・・・・・・・60
電話がかかってきたときは（着信）・・・61
電話を受ける　・・・・・・・・・・・・61
相手の方に待っていただくには（保留）・・62
通話を保留する　・・・・・・・・・・・62
デュアルモードでPHSサービスを利用して電話をかけるには・・・・・・・・・・63

4 トランシーバ通話をする

トランシーバモードの使いかた・・・・・64
トランシーバモードの番号を設定するには・・・・・・・・・・・・・65
トランシーバモードで電話をかけるには・・66
電話をかける　・・・・・・・・・・・・66
トランシーバモードで電話を受けるには・・67
電話を受ける　・・・・・・・・・・・・67
トランシーバグループを登録するには　・・・68
トランシーバグループ登録を行う　・・・68
トランシーバグループ登録を解除するには・・・・・・・・・・・・・69
トランシーバグループ登録を解除する・・69

5 より便利に使う

文字を入力するには・・・・・・・・・・70
カタカナモード　・・・・・・・・・・・70
英字モード　・・・・・・・・・・・・・70
数字モード　・・・・・・・・・・・・・71
電話帳ダイヤルに登録するには・・・・・72
電話帳ダイヤルでかけるには・・・・・・74
50音順で検索してかける　・・・・・・74
読み仮名を検索してかける　・・・・・75
電話帳グループの電話番号を検索してかける　・・・・・・・・・・・・・・76
電話帳ダイヤルを修正するには・・・・・78
電話帳ダイヤルを削除するには・・・・・79
登録データを削除する　・・・・・・・79
全登録データを消去する　・・・・・・80
電話帳グループの名前をつけるには　・・・81
グループ名をつける　・・・・・・・・81
発信記録や着信記録の電話番号を登録するには・・・・・・・・・・・・・・・82
電話番号を組み合わせてかけるには　・・・83
電話番号を組み合わせて発信する　・・・83
追加ダイヤルを組み合わせて発信する・・83
前に電話をかけた相手に再びかけるには（発信記録）・・・・・・・・・・・・・84
かけた相手に再びかける　・・・・・・84
電話帳にネーム情報が登録されているとき　・・・・・・・・・・・・84
発信記録を削除するには・・・・・・・・85
記録されたデータの削除　・・・・・・85
記録された全データの削除　・・・・・85
電話をかけてきた相手にこちらからかけるには（着信記録）・・・・・・・86
かけてきた相手にこちらからかける・・86
ネーム・ディスプレイで発信者名が通知されているとき・・・・・・・・86
着信記録を削除するには・・・・・・・・88
記録されたデータの削除　・・・・・・88
記録された全データの削除　・・・・・88
着信の種類ごとに音を変えるには・・・・89
内線着信の着信音を変更する　・・・・89
着信を振動で知らせるには（バイブレーション着信）・・・・・・90
バイブレーション着信を設定する　・・90
バイブレーション着信を解除する　・・90
マナーモードを設定するには・・・・・・91
マナーモードの機能を設定する　・・・91

マナーモードを設定する ・・・・・・92
マナーモードを解除する ・・・・・・92
誤操作を防止するには（キーロック） ・・・93
キーロックを設定する ・・・・・・・93
キーロックを解除する ・・・・・・・93
暗証番号を登録／変更するには・・・・・94
暗証番号を新規に登録する ・・・・・94
暗証番号を変更する ・・・・・・・・95
電話をかけられないようにするには
（ダイヤルロック）・・・・・・・・・96
ダイヤルロックの設定 ・・・・・・・96
ダイヤルロックの解除 ・・・・・・・96
電話帳を開けないようにするには
（電話帳ロック）・・・・・・・・・・97
電話帳ロックを設定する ・・・・・・97
電話帳ロックを解除する ・・・・・・97
アラーム時刻を設定するには・・・・・・98
アラームを設定する ・・・・・・・・98
アラームを解除する ・・・・・・・・98
32Kデータ通信を利用するには ・・・・99
32Kデータ通信を設定する ・・・・・99
いろいろな機能を設定するには ・・・・100
操作するときの音を消す
（キータッチトーン） ・・・・・・100
操作するときの音を出す
（キータッチトーン） ・・・・・・100
クイック通話を設定する・・・・・・101
クイック通話を解除する・・・・・・101
クイック発信保護を設定する・・・・102
クイック発信保護を解除する・・・・102
ダイヤルを押すだけで着信に応答する
（エニーキー応答） ・・・・・・・103
エニーキー応答を解除する・・・・・103
モデム通信を設定する・・・・・・・104
モデム通信を解除する・・・・・・・104
サブアドレス通知を設定する・・・・105
サブアドレス通知を解除する・・・・105
自営圏外通知を設定する・・・・・・106
自営圏外通知を解除する・・・・・・106
公衆のエリア内に入ったことを通知する
（公衆圏内通知） ・・・・・・・・107
公衆圏内通知を解除する・・・・・・107
電話番号通知を設定する・・・・・・108
電話番号通知を解除する・・・・・・108
公衆モード時の液晶ディスプレイ表示
を登録する・・・・・・・・・・・109
充電確認音を設定する・・・・・・・110
充電確認音を解除する・・・・・・・110
使用者名を登録する・・・・・・・・111
データ着信音を設定する・・・・・・112
操作が分からないときは（ヘルプ表示）・113
Q&A ・・・・・・・・・・・・・・・・・114
電話をかける／受ける・・・・・・・114

6 ご参考に

設定できる機能の一覧 ・・・・・・・・115
電池パックの取り扱い・・・・・・・・・116
電池の残量がなくなったときは ・・・・117
オプションをご利用になるには ・・・・118
ディジタルシステムコードレス電話機と
他の内線標準電話機との違い
（自営モードのとき） ・・・・・・119
通話できる範囲から外れたときは
（圏外） ・・・・・・・・・・・・・・120
こんな音がしたら・・・・・・・・・・・121
故障かな？と思ったら・・・・・・・・・122
停電になったとき ・・・・・・・・・・124
索引・・・・・・・・・・・・・・・・・・125
仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・129
保守サービスのご案内・・・・・・・・・130

特　長

1つのコードレス電話機を自営・公衆・トランシーバで活用

ディジタルシステムコードレス接続装置からの電波の届く範囲（エリア）で内線電話機として使用できます。
（☛P34）

PHSサービスエリア内では、公衆基地局からの電波を受けてPHSとして利用できます。
＊PHSサービスエリアとは、公衆基地局から電波が届き、PHSサービスを利用できる範囲のことです。（☛P58）

ディジタルシステムコードレス接続装置などを介さずディジタルシステムコードレス電話機どうしで直接トランシーバ通話ができます。（☛P64）

ご利用になれるネットコミュニティシステム・ビジネスホンのシリーズ

ディジタルシステムコードレス電話機は、ネットコミュニティシステムαGXシリーズ、ネットコミュニティシステムBXシリーズでご利用になれます。

（平成19年1月現在）

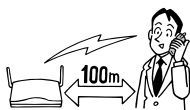
半径100 m程度なら持ち運びが自由

ディジタルシステムコードレス接続装置などから半径約100 m程度（見通し距離）まで、お話ししながら移動できます。

他の内線電話機と通話・転送可能（自営モード時）

自営モードのとき、他の内線電話機との間でお話ししたり（☛P50）、外の相手の方のお話しを他の内線電話機に取りつぐことができます。
（☛P49）

高音質／盗聴防止のディジタルコードレスホン

信号の送受信をディジタル信号で行っているため高音質です。また、盗聴の心配も少なくなります。
※第三者が特殊手段を講じた場合、盗聴されることがあります。

500件まで登録できる電話帳ダイヤル

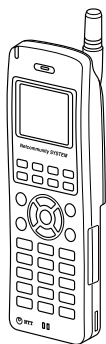
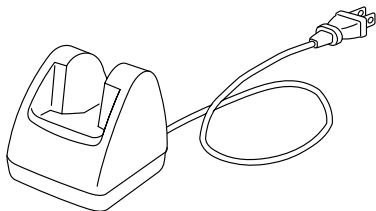
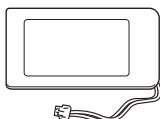
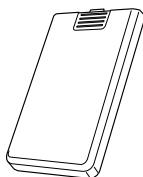
最大500件まで名前と電話番号を登録でき、簡単な操作で電話をかけることができます。
（☛P72）

ワンポイント

● **PHSサービスとは**
PHS事業者と契約することにより、ディジタルシステムコードレス電話機をPHSとして屋外でも利用可能とするサービスです。PHSサービスを利用するときはPHSサービス専用の電話番号になります。（☛P58）

お知らせ

- PHSサービスのご利用には別途PHS事業者との契約が必要です。公衆基地局が設置されたサービスエリア内でのみご利用いただけます。詳しくはPHS事業者へお問い合わせください。
- PHSサービスをご契約になるときは、電話番号などの登録が必要です。登録についてはPHS事業者にお問い合わせください。

セットを確認してください

ディジタルシステムコードレス電話機
（1台）

充電器（1台）
（コード：約1.5 m）

電池パック（1個）

電池カバー（1個）

■付属品

ハンドストラップ（1本）

取扱説明書（1部）

●セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁、落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所へご連絡ください。

各部の名前

着信／充電ランプ
電話がかかってきたときに点滅します。充電中は赤色に点灯します。

外線ボタン
ボタン電話機と同様、システムの設定により、いろいろな機能を割り付けることができます。

F／カナ／英ボタン
他のボタンと組み合わせていろいろな機能を使ったり、文字の入力モードの選択に使います。

内線ボタン
内線でお話しするときやいろいろな登録操作を行うときに使います。

クリアボタン
入力した電話番号や文字を訂正するときに使います。

通話／フックボタン
電話をかけるときや受けるときに使います。通話中は、「フック」ボタンになります。

ダイヤルボタン
電話番号や文字を入力するときに使います。

送話口（マイク）

アンテナ

受話口

液晶ディスプレイ
ダイヤルモニタやいろいろな状態表示を行います。

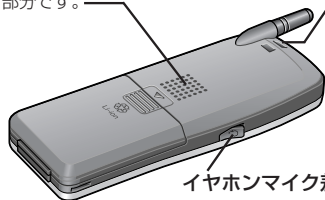
電話帳ボタン
電話帳ダイヤルを登録するとき、電話帳を使って電話をかけるときに使います。

上下左右（着信履歴ボタン／発信履歴ボタン）／決定（メニュー）ボタン
電話帳やメニュー機能の検索、発着信記録の確認に使います。受話音量、着信音量およびスピーカ音量を切り替えるときにも使います。
※決定ボタンを押してから機能番号（メニュー番号）を押すと、ディスプレイにメニューが表示されます。

保留ボタン
電話を保留するときに使います。

切／電源ボタン
電源を入／切するとき、通話を終わるときに使います。

スピーカ口
着信音、警告（報）音などの音が鳴る部分です。

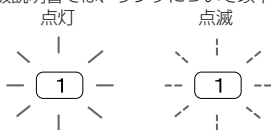
ハンドストラップ取付穴

イヤホンマイク差込口
オプションのイヤホンマイクを差し込んで使用します。

データコネクタ部
32Kデータ通信を行うときに使用します。

※ダイヤルボタン［5 ナ JKL］の部分に突起が付いていますが、この突起は目のご不自由な方の操作を容易にするためのものです。

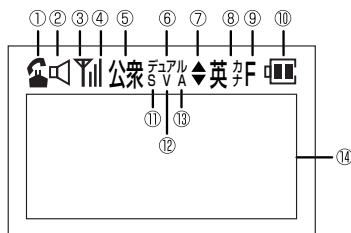
【ランプ表示】

■ランプの表記について

この取扱説明書では、ランプについて以下のように表します。

ランプの種類		ランプのつきかた（色）		電話機の状態
外線ランプ	自営モード	2回消える	（緑）	自分の電話機でお話し中のとき
		点灯	（赤）	他の内線電話機が外の相手の方とお話し中のとき
		点滅	（赤）※	電話がかかってきたとき
		遅い点滅	（赤）	他の内線電話機が保留中のとき
		2回点灯	（緑）	自分の電話機で外の相手の方とのお話しを保留中のとき
内線ランプ	自営モード	点滅	（赤）	内線で呼び出されているとき
		2回消える	（緑）	自分の電話機で内線通話をしているとき
		2回点灯	（緑）	自分の電話機で内線通話を保留中のとき
ダイヤルライト 液晶バックライト		点灯	（緑）	ダイヤルボタンなどの操作をしているとき
着信／充電ランプ		点灯	（緑）	充電がほぼ完了したとき
		点灯	（赤）	充電中のとき
		遅い点滅	（赤）	電話機の充電器への置きかたに異常があったり、電池の異常で充電できないとき
		点滅	（赤）	電話がかかってきたとき

※保留警報時、ダイヤルイン着信時などの場合は緑色になります。（BX-RMでは、ダイヤルイン着信時は赤色のままとなります。）

各部の名前

【液晶ディスプレイの見かた】

■こんなときに表示されます

①	点滅：接続装置と制御信号のやり取りをしています。 点灯：電話中であることを表します。
②	スピーカがオンになっていることを表します。
③	接続装置と通信が可能なことを表します。
④	接続装置から受けている電波の強さを4段階で表します。 電話をかけるときはできるだけバーが2本以上立っているところで操作してください。
⑤ 公衆	公衆モードになっていることを表します。 デュアルモードのときはPHSサービスエリア内にいることを表します。
⑥ デュアル	デュアルモードになっていることを表します。
⑦	上下ボタンで中の項目をスクロールすることができるとき点灯します。
⑧ 英カナ	電話帳登録などの際に入力モードがカナ入力／英字入力になっていることを表します。
⑨ F	Fボタンを使った操作を行っていることを表します。
⑩	電池残量の目安を3段階で表します。 電池中の表示がなくなり枠だけの表示になったら、できるだけ早めに充電するようにしてください。 電池残量警報状態になったときは電池の枠が点滅します。
⑪ S	着信音を鳴らさない設定になっていることを表します。
⑫ V	着信を振動で知らせる設定になっていることを表します。
⑬ A	時計アラームが設定されていることを表します。
⑭表示部	入力されたダイヤル番号や各種の状態を表示します。 次の表示で各種の状態をお知らせします。 ・「Ｉ」：着信できない。（☛P35） ・マナー：マナーモード。（☛P91） ・「☎」：未確認の着信記録あり。（☛P87）

●液晶ディスプレイに実際に表示される文字と一部異なる部分があります。
●表示部は、接続装置の種類によっては、10桁または12桁分の表示のみとなります。

こんなときはご利用になれません

液晶ディスプレイの Ƴ マークが消えているとき

サービスエリア以外の場所や、サービスエリア内でも電波の弱い場所にいるために、電話をかけたり受けたりできません。

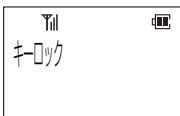
（対処方法）
Ƴ マークが表示されるように電波状態のよい場所まで移動してください。

液晶ディスプレイに「ダイヤルロック」が表示されるとき

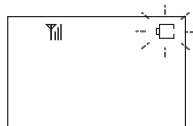
発信を禁止するダイヤルロックが設定されています。

（対処方法）
ダイヤルロックを解除してください。
<ダイヤルロックの解除>（☛P96）

液晶ディスプレイに「キーロック」が表示されるとき

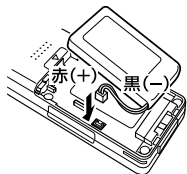
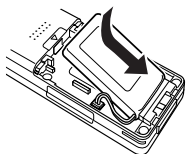
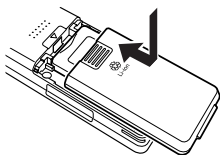
誤操作を防止するキーロックが設定されています。

（対処方法）
キーロックを解除してください。
<キーロックを解除する>（☛P93）

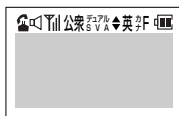
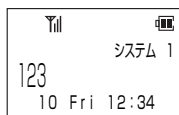
液晶ディスプレイの マークが点滅しているとき

電池がなくなりかけています。このとき、「ピ…ピ…ピ…」という電池残量警報音が鳴ります。

（対処方法）
電話機を充電してください。
<ディジタルシステムコードレス電話機を充電する>（☛P23）

ディジタルシステムコードレス電話機の準備をします

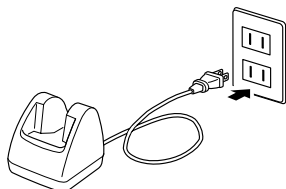
■ディジタルシステムコードレス電話機の準備をする

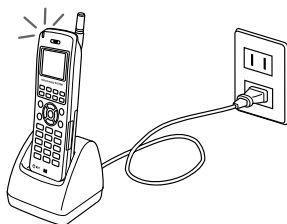
1 同梱の電池パックのコネクタを差し込む。

2 下部のクッションに押し当てながら、電池パックを電話機にセットする。

3 同梱の電池カバーを取り付ける。

4 電源ボタンを1秒以上押す。

・液晶ディスプレイに表示が出て、「ピー」という音が鳴ります。

・待ち受け中の液晶ディスプレイ表示は、モードにより異なりますが、設定により変更できます。

●電源を切るには電源ボタンを1秒以上押します。

■ディジタルシステムコードレス電話機を充電する

充電器は必ず同梱されている専用の充電器をお使いください。

電源プラグを電源コンセント（AC100 V）に差し込む。

2 電話機を充電器に置き、7時間以上充電する。

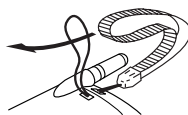
充電器に置いたとき、充電ランプが赤く点灯することをご確認ください。

お知らせ

- 電話機の充電ランプは充電がほぼ終了すると緑色の点灯に変わります。
- 充電中は充電器や電話機があたたかくなることがありますが故障ではありません。
- 充電中は電話機の電源を入れることはできません。電話機を充電器から取りあげて電源を入れてください。
- 電話機の電源が入っているときは、充電完了まで7時間以上かかる場合があります。

■ハンドストラップを取り付ける

携帯するとき、思わぬ落下を防ぐために手首に通してお使いいただくことをお勧めします。

1 ハンドストラップの細いひもの輪の部分を、取り付け穴の上から通します。

2 出てきた細いひもの中に反対側のひもを通して引き絞ってください。

お願い

- はじめてお使いのときや、長い間お使いにならなかったときは、必ず7時間以上充電してください。
- 電話機および充電器がぬれているときは、必ず乾いた布などでふき取ってから充電してください。
- 充電は周囲の温度が5°C～35°Cの間で行ってください。5°C以下や35°C以上のときは正しく充電できないことがあります。
- 充電が正しく行われていないと、電話機の充電ランプが赤く点滅します。このときは電話機を充電器に正しく置き直してください。また、電池が古くなったり壊れたりしているときにも赤く点滅します。このときは電池パックの交換が必要です。当社のサービス取扱所にお申し付けください。
- 電池残量が極めて少ない場合は、充電器に置いても充電ランプが点灯しないときがあります。電池が古くなったり壊れたりしていなければ、約5分ほどで充電ランプが点灯します。

ディジタルシステムコードレス電話機の準備をします

ディジタルシステムコードレス電話機は、ご利用に合わせてモードを切り替えることができます。

■モードを設定する

自営モード

●自営で利用する場合

αGXシリーズ、BXシリーズの内線ディジタルシステムコードレス電話機としてご使用になれます。ディジタルシステムコードレス接続装置などに接続されている電話回線を通じて電話をかけたり、受けたりすることができます。

公衆モード

●PHSサービスを利用する場合

PHS事業者とご契約いただくと、PHSサービスを受けることができます。
PHSサービスエリア内であれば、電話をかけたり受けたりすることができます。

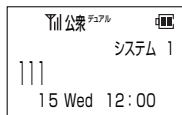
トランシーバモード

●トランシーバ通話を利用する場合

トランシーバ通話は、同じ主装置に収容されているディジタルシステムコードレス電話機どうしでのみ、ご利用いただけます。
ディジタルシステムコードレス電話機を増設して、ディジタルシステムコードレス接続装置などを介さず、ディジタルシステムコードレス電話機どうしで直接お話しできます（通話料金はかかりません）。

デュアルモード

●自営モードと公衆モードの両方を利用する場合（PHSサービスご加入が必要）

自営で使える範囲（エリア）に入ると自営モードとなり、PHSサービスエリアに入ると公衆モードに自動的に切り替わります。
PHSサービスエリアに入っても自営で使える範囲にいるときは、自営モードになります。

ワンポイント

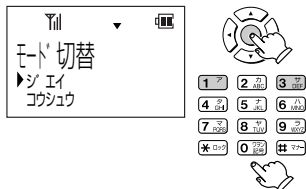
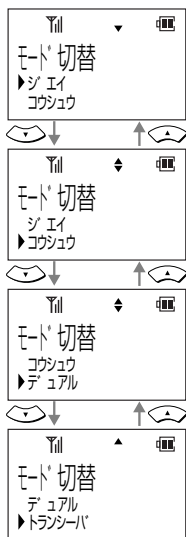
●待ち受け中の液晶ディスプレイの表示について

・自営モード時
「システム設定」で変更できます。
・公衆モード時の上段
「公衆モード時の液晶ディスプレイ表示を登録する」（☞P109）で登録された名称が表示されます。
・公衆・トランシーバモード時の中段
「使用者名を登録する」（☞P111）で登録された名称が表示されます。

■モードを切り替える

自営では内線電話機としてご利用になっていて、外出先で公衆モードに変更するような場合、以下の手順でモードを変更します。

1 待ち受け状態で、決定ボタン、[1 ア][3 サ DEF]、決定ボタンの順に押す。

現在のモードが選択表示され、モードの切り替えが可能になります。

2 上下ボタンでご利用になるモードを選択する。

3 決定ボタンを押す。

「ピピ」という確認音が鳴り、表示されているモードが設定されます。

ワンポイント

●**電源を入れながらモードを選択するには**

電源を切った状態で下記の各ダイヤルボタンを押しながら、電源ボタンを1秒以上押します。

自営モード	[2 カ ABC]
公衆モード	[5 ナ JKL]
トランシーバモード	[8 ヤ TUV]
デュアルモード	[0 ワヲン 記号]

お知らせ

●待ち受け状態とは、発信、着信、通話などの操作を行っていない状態のことです。
このとき液晶ディスプレイには、登録された文字や数字が表示されています。
●PHS事業者とのご契約をされていない電話機は、自営モードとトランシーバモードのみの切り替えになります。
●トランシーバモードをご利用いただくためには、トランシーバモードの番号を設定してください。(☛P65)
●動作モードの設定は、電源を切っても保持されます。

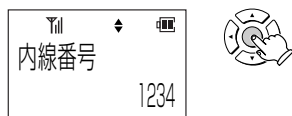
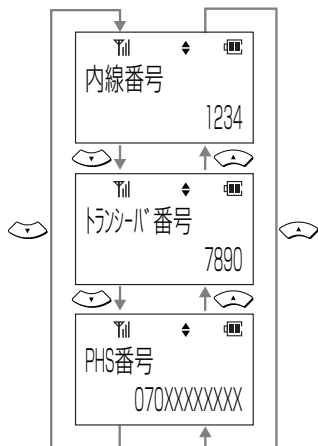
ディジタルシステムコードレス電話機の準備をします

お客様の電話機に登録された電話番号を表示します。
電話番号には、内線電話番号、PHS電話番号、トランシーバ番号の3つがあります。

■電話番号を確認する

1 待ち受け状態で、決定ボタン、0（ワヲン 記号）の順に押す。

決定ボタン＋機能番号で、機能番号に対応したメニューが表示されます。

2 決定ボタンを押す。
液晶ディスプレイに、そのときの動作モードにおける電話番号が表示されます。

3 上下ボタンで次のモードの電話番号を表示する。

お知らせ

●決定ボタンを押してから機能番号（メニュー番号）を入力すると、ディスプレイには機能番号に対応したメニューが表示されます。
●登録されていないモードの電話番号は表示されません。
●PHS事業者とのご契約をされていない電話機の場合は、PHS電話番号はありません。
●トランシーバ番号を設定していない場合は、トランシーバ番号は表示されません。

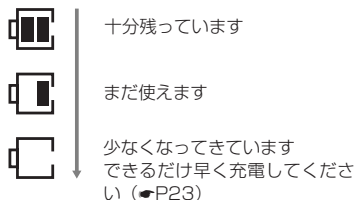
■電池残量を確認する

電池残量は、液晶ディスプレイに表示されます。電池残量はご利用いただける目安の表示です。

電池残量

十分残っています

まだ使えます

少なくなってきています
できるだけ早く充電してください（☛P23）

電池パックを交換したときは、必ず7時間以上充電してください。（☛P116）

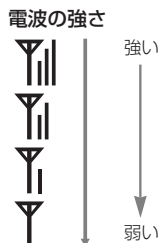
(電池の使用可能時間の目安)

条件		使用可能時間
自営モード	待ち受け	約320時間
	連続通話	約4.5時間
トランシーバモード	待ち受け	約100時間
	連続通話	約4.5時間
公衆モード	待ち受け	約320時間
	連続通話	約4.5時間
デュアルモード	待ち受け	約200時間
	連続通話	約4.5時間

●連続通話時間は常温での算出値です。周囲の温度や電池の状態によって変わります。
●連続待ち受け時間は、接続装置や基地局等からの電波が安定している場所における算出値です。モードが異なる場合や電波の弱い場所、電波の届かない場所では電池の消耗が多いため、表中の数値とは異なります。
●自営モードでは、外線ランプが消えている場合の時間です。外線ランプが表示されていると電池の消耗が多くなり、表中の数値とは異なります。
数値は外線ランプの使用状態により変わります。

■電波の状態を確認する

電話をかけたり受けたりすることができる状態のときは、液晶ディスプレイに が表示されます。また4段階で電波の強さを表示します。

電波の強さ

●電波の届かない場所（圏外）では、お話しすることはできません。（☛P120）
●圏外では は表示されません。

ワンポイント

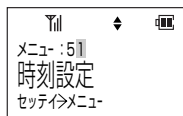
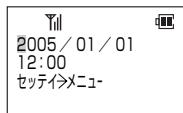
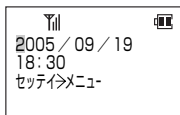
●お使いになるときは、必ずアンテナを伸ばしてください。アンテナは「カチッ」と止まるまで伸ばしてお使いください。

お知らせ

●トランシーバモードで待ち受け中のときは、 が表示されません。
●自営モードでお使いのときは、ディジタルシステムコードレス接続装置から100 m以内の場所でも、周囲の環境によりお話しできない場合がありますので、あらかじめ内線通話によりお話しできる範囲を確認しておくことをお勧めします。
●電波の弱い場所では、電話をかけたり受けたりすることができない場合があります。
●電波の強い場所でも接続装置などに登録動作を行っているときは、電話をかけたり受けたりすることができない場合があります。

電話機の現在の時刻を設定します

電話機に内蔵された時計の日付と時刻を設定します。
(時刻を設定しないとアラーム機能などが正しく動作しません。)

1 **待ち受け状態で、決定ボタン、5 ナ JKL 1 ア の順に押す。**
「時刻設定」が表示されます。

2 **決定ボタンを押す。**

3 **現在の時刻を入力する。**
年→月→日→時刻の順に入力します。
左右ボタンでカーソルの移動ができます。
時刻は24時間制です。

4 **決定ボタンを押す。**
設定が正常に終了すると「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

日付時刻
設定しました

お知らせ

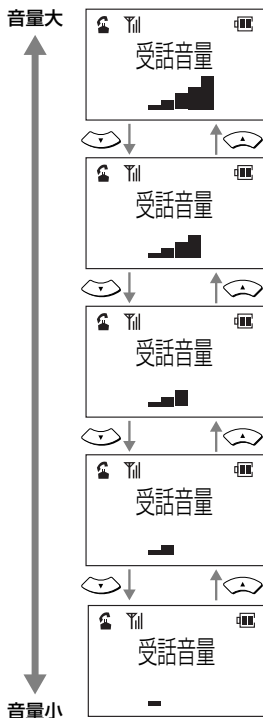
- 電池が消耗した場合や電池交換時に時刻は初期状態に戻ります。その場合は再度設定してください。
- 時計の精度は1か月に±60 秒程度の誤差があります。(常温(25 ℃)の場合)

電話機の受話音量を調節します

通話中に受話音量を5段階に調節できます。

1 通話中に上下ボタンを押す。

2 下ボタンを押すと↓の方向に、上ボタンを押すと↑の方向で順番に受話音量が変わる。

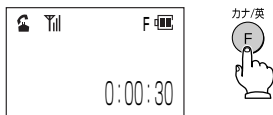
調節したあと、約3秒で元の表示に戻ります。

ワンポイント

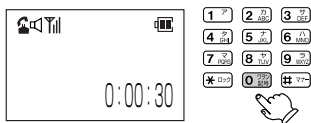
- 設定した受話音量は、通話を終了しても保持されます。
- 設定した受話音量は、電源を切っても保持されます。

お話し中にスピーカ受話に切り替えます

通話中にスピーカ受話に切り替えることができます。

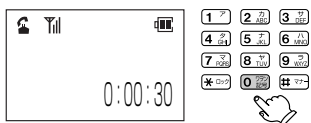
■スピーカ受話に切り替える

1 通話中に (F) ボタンを押す。

2 [0 ワラン記号] を押す。

スピーカから相手の方の声が聞こえます。
「スピーカ」ピクトが点灯します。

■通常の受話に切り替える

1 通話中に (F) ボタンを押す。

2 [0 ワラン記号] を押す。

通常の通話に切り替わります。
「スピーカ」ピクトが消灯します。

ワンポイント

- 手順1〜2を行うたびに、スピーカ受話と、通常の通話が交互に切り替わります。
- 待ち受け中に (F) ボタン、[0 ワラン記号] を押すとスピーカ受話による発信ができます。

お知らせ

- スピーカ受話中、こちらの声は相手の方には聞こえません。
- スピーカ受話中、 ボタンを押すと通話は切れます。
- 充電器に置いたままでもスピーカ受話できます。このとき、充電器から取りあげるとスピーカ受話は解除され通常の通話となります。
- 自営モードのとき、主装置のスピーカ受話機能とは関係ありません。
「ワンタッチオンフックダイヤル」を利用されている場合、待ち受け中に外線ボタンを押しても自動的にスピーカ受話にはなりません。

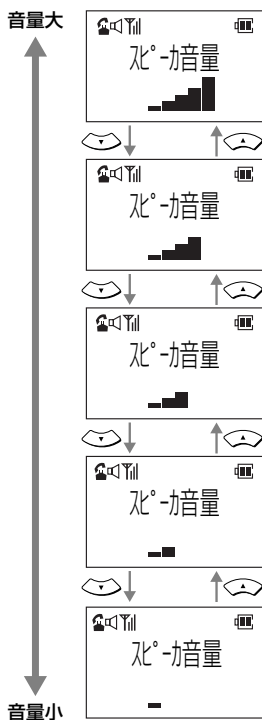
▶ *クイック通話が設定されているときは（クイック設定）（☛P114）*

電話機のスピーカ音量を調節します

通話中にスピーカ音量を5段階に調節できます。

1 通話中(スピーカ使用中)に上下ボタンを押す。

2 下ボタンを押すと↓の方向に、上ボタンを押すと↑の方向で順番にスピーカ音量が変わる。

調節したあと、約3秒で元の表示に戻ります。

ワンポイント

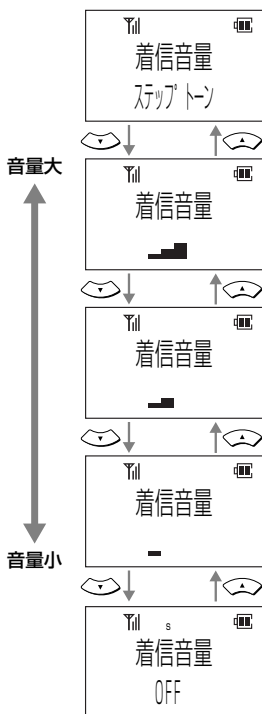
- ●設定したスピーカ音量は、通話を終了しても保持されます。
- ●設定したスピーカ音量は、電源を切っても保持されます。

電話機の着信音量を調節します

電話がかかってきたことをお知らせする着信音の大きさを3段階に調節できます。また、着信音を鳴らないようにすることもできます。

1 待ち受け状態または着信中に、上下ボタンを押す。

2 下ボタンを押すと↓の方向に、上ボタンを押すと↑の方向で順番に着信音量が変わる。

調節したあと、約3秒で元の表示に戻ります。

ワンポイント

- **ステップトーンとは**
  着信音量をステップトーンに設定すると、着信音が「小」→「中」→「大」と1段階ずつ大きくなります。
- **着信音量の設定は、通話を終了しても保持されます。**
- **着信音量の設定は、電源を切っても保持されます。**

お知らせ

- 着信音が鳴らないように設定されているときは「S」ピクトが点灯します。
- バイブレーション着信が設定されているとき、ステップトーンはバイブレーション→小→中→大となります。
- マナーモード中はマナー設定で選択された動作に従います。
  <マナーモードの機能を設定する>（☛P91）

電話機のメニュー機能を操作します

各種機能の設定を選ぶにはメニュー番号で選ぶ方法と、メニューを検索して選ぶ方法があります。

■メニュー番号で選ぶには

<例>メニュー番号52（クイック通話）の場合

1 待ち受け状態で、決定ボタン、[5 ナ JKL] [2 カ ABC]、決定ボタンの順に押す。

「クイック通話」の設定画面が表示されます。

2 設定する内容を選択し、決定ボタンを押す。

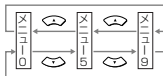
待ち受け状態に戻ります。

■メニューを検索して選ぶには

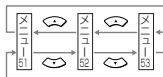
<例>メニュー番号52（クイック通話）の場合

1 決定ボタンを押す。

2 上下ボタンで「メニュー5」を選択する。

メニューがスクロール表示されます。

3 決定ボタンを押す。

4 上下ボタンで「メニュー52」を選択する。

メニューがスクロール表示されます。

5 決定ボタンを押す。

クイック通話の設定画面が表示されます。

6 設定する内容を選択し、決定ボタンを押す。

待ち受け状態に戻ります。

お知らせ

- 決定ボタンの代わりに [クリア] ボタンを押すとひとつ前の画面に戻ることができます。
- メニューの表示内容一覧は「設定できる機能の一覧」をご覧ください。（☛P115）
- [☎] ボタンを押すとメニュー機能の操作を中止することができます。

自営モードとは

ディジタルシステムコードレス電話機は、主装置に接続されたディジタルシステムコードレス接続装置を利用して、外線ボタン付きの内線電話機としてご利用になれます。

モードの設定について

自営モードまたはデュアルモードに設定してお使いください。

使える事業所（システム）の数

ディジタルシステムコードレス電話機は、最大9か所の事業所（システム）に登録することができます。

事業所（システム）の選択

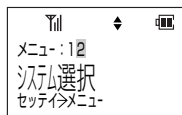
事業所（システム）を移動したときは自動的に設定が切り替わります。
2か所以上の事業所のサービスエリアが重なっているときは、P35の手順で事業所を選択します。

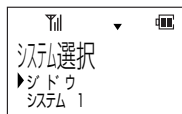
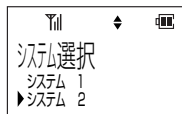
ワンポイント

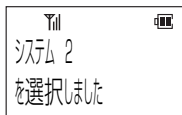
- **通話できる範囲から外れたときは**
  「自営圏外通知」を設定すると、範囲外となったときには、音でお知らせします。
- **外線ボタンについて**
  8個の外線ボタンを主装置の設定により、フレキシブルにご利用になれます。
  また、外線の使用状況を赤または緑のランプでお知らせします。
- **液晶ディスプレイ表示**
  主装置のサービス機能をご利用になる場合は、それぞれのサービス機能の状態が表示されます。
- **着信音の識別**
  内線からの着信や、外からの着信を音で識別することができます。

事業所（システム）を選択する

1 **待ち受け状態で、決定ボタン、1 ア 2 カ ABC の順に押す。**

「システム選択」が表示されます。

2 **決定ボタンを押す。**

現在選択しているシステムの名称が表示されます。

3 **上下ボタンで登録されているシステムを選択する。**

4 **決定ボタンを押す。**

「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

お知らせ

●「I」が表示されているときはディジタルシステムコードレス接続装置がビジー等の理由で、着信ランプ表示や液晶ディスプレイの表示ができないことを示しています。
ただし、発信は通常のとおり利用できます。

最適な接続装置を選択します

ディジタルシステムコードレス電話機は、自動的に接続装置を選択して使用できますが、待ち受け状態で移動したとき、必ずしも最も距離の近い接続装置を選択しているとは限りません。このようなときは、以下の操作で最適な接続装置を選択し、接続し直すことができます。

＜例＞すぐ近くに接続装置があるにもかかわらず、「電波レベル」が低い場合。

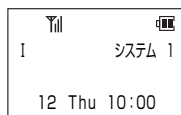
1 待ち受け状態で、Ⓕボタンを1秒以上押す。

「アンテナ」が点滅して、「電波レベル」が上がります。

最適な接続装置の選択が完了します。

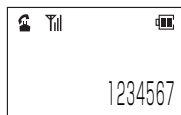
お知らせ

- 上記手順を行っても、最寄りの接続装置がふさがっている場合や、電波の状態などで、接続が失敗することもあります。

電話をかけるには　（外線発信）

外線ボタンを押してかける方法のほかに、押した電話番号を確認してからかける方法（プリセットダイヤル）があります。

外線ボタンを押してかける

1 外線ボタンを押す。
「ツー」という発信音を確認してください。
外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

2 電話番号をダイヤルボタンで押す。
電話番号が表示されます。

3 相手の方が出たら、お話しする。
通話時間が表示されます。

4 お話しが終わったら、ボタンを押す。

ワンポイント

- 主装置側で「発信自動捕捉」を設定しているときは ボタンを押すだけで、外線の発信ができます。
- 相手の方の声が聞き取りにくいときは（受話音量）（☛P29）

お知らせ

- 外線ランプが赤く点灯しているときは、他の内線電話機が外の相手の方とお話し中です。外線ボタンを押しても電話をかけることはできません。

▶ *クイック通話が設定されているときは（クイック通話）（☛P114）*
▶ *主装置側で「プリセレクションサービス」を利用されているときは（☛P114）*
▶ *PBXなどに接続しているときは（☛P114）*

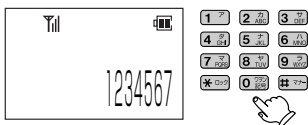
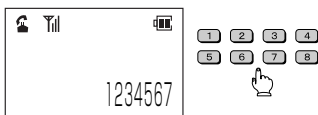
▶ *液晶ディスプレイに表示される通話時間は（☛P114）*

電話をかけるには
最適な接続装置を選択します

電話をかけるには　（外線発信）

電話番号を確認してからかける（プリセットダイヤル）

外線ランプや内線ランプが消えていることを確認します。

1 電話番号をダイヤルボタンで押す。
電話番号が表示されます。

2 外線ボタンを押す。
外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

3 相手の方が出たら、お話しする。
通話時間が表示されます。

4 お話しが終わったら、 **ボタンを押す。**

ワンポイント

- **プリセットダイヤルの場合、電話番号を間違えたときは電話番号を表示しているときに［クリア］ボタンを押すと１桁削除されます。**
  電話番号を全部消したいときは［☎］ボタンを押してください。
- **続けて電話をかけるときは**
  次のどちらかの方法で、通話をいったん切ってから再発信することができます（切断再捕捉）。
  ・［☎］ボタンを押す
  ・［F］ボタン、［F］ボタン、［☎］ボタンの順に押す
  どちらの方法を使うかは主装置側で設定します。

お知らせ

- プリセットダイヤルは、32桁までダイヤルできます。
- ダイヤル操作を途中でやめると、約6秒で液晶ディスプレイは待ち受け状態の表示に戻ります。

▶ *クイック通話が設定されているときは（クイック通話）（☞P114）*
▶ *主装置側で「プリセレクションサービス」を利用されているときは（☞P114）*
▶ *PBXなどに接続しているときは（☞P114）*

▶ *液晶ディスプレイに表示される通話時間は（☞P114）*

電話がかかってきたときは（外線着信）

外から電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプと外線ランプが赤く点滅します。また、主装置によっては、ISDNなどの着信時に相手の方の電話番号が表示されます。

手に持ってお話しする

着信音が鳴ったら･･･

1 （フック）ボタンを押して、相手の方とお話しする。

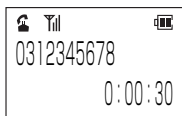
外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。
通話時間が表示されます。

2 お話しが終わったら、（終話）ボタンを押す。

電話番号を確認してから受ける

着信音が鳴ったら･･･

1 電話番号を確認し、（フック）ボタンを押して、相手の方とお話しする。

通話時間が表示されます。

2 お話しが終わったら、（終話）ボタンを押す。

ワンポイント

- **着信音が鳴っているときに（終話）ボタンを押すと、その着信に関してのみ着信音およびバイブレーションを止めることができます。**
- **（フック）ボタン以外のボタンを押して電話に出るには（エニーキー応答）**
  「エニーキー応答」が設定されていて、かつ主装置の設定で着信自動応答が設定されていると、電話がかかってきたときにダイヤルボタンを押して電話に出ることができます。（☞P103）
- **着信音の音量を変えるには（☞P32）**
- **相手の方の声が聞き取りにくいときは（受話音量）（☞P29）**
- **着信音を変えるには（☞P89）**
- **着信を振動で知らせるには（バイブレーション着信）（☞P90）**

お知らせ

- ディジタルシステムコードレス電話機のモードが異なっていたり、電源を切っていると着信しません。
- ダイヤルイン着信などの外線ランプは、緑点滅します。（BX-RMでは、ダイヤルイン着信時は赤点滅のままとなります。）
- 主装置の設定によっては、（フック）ボタンを押すだけではかかってきた電話に出ることができません。点滅している回線ボタンを押すと、相手の方とお話しできます。
- 相手の方の電話番号がディジタルシステムコードレス電話機の電話帳に登録されている場合、相手の方の名前も表示されます。

▶液晶ディスプレイに表示される通話時間は（☞P114）

電話がかかってきたときは（外線着信）

ネーム・ディスプレイサービスに加入している場合の表示は、次のようになります。

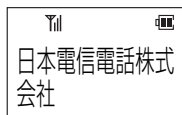
発信者名が8文字（全角）以内の場合

1 ネーム・ディスプレイ情報と発信者番号が表示される。

エヌティティ
0312345678

発信者名が8文字（全角）を超える場合

1 ネーム・ディスプレイ情報が表示される。

日本電信電話株式
会社

2 ＃マナー ボタンを押す。

ネーム・ディスプレイ情報の先頭8文字（全角）と発信者番号が表示されます。

3 ＃マナー ボタンを押す。

手順1の状態に戻ります。

お知らせ

●BX-RMでは、BX-RM主装置の電話帳またはワンタッチダイヤルに登録された名称データに、全角文字と半角文字を混在して登録されていると、本ディジタルシステムコードレス電話機での名称表示が正しく表示されません。BX-RM主装置では、全角文字と半角文字を混在させずに登録してください。

相手の方に待っていただくには（保留）

お話しを一時中断して、相手の方に待っていただくときは保留機能をご利用ください。相手の方へは保留メロディが流れます。
保留には、下記の3通りがあります。

・共通保留　保留にしたあと、他の内線電話機でも電話に出ることができます。
・個別保留　保留にしたあと、他の内線電話機では電話に出られません。
・パーク保留　同じパーク保留ボタンを設定した内線電話機で電話に出ることができます。

普通に保留する（共通保留）

お話し中に、相手の方に待っていただくように伝えます。

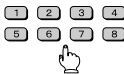
1 (保留) **ボタンを押す。**

相手の方には保留メロディが流れます。
外線ランプが周期的に緑で2回点灯します。
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。

2 お話しに戻るときは、保留にしている外線ボタンを押す。

外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。
通話時間が表示されます。

3 相手の方とお話しする。

お待たせしました。

ワンポイント

●**他の電話機で保留を解除するには（口頭転送）**
保留にしている外線ボタンを押すと、他の内線電話機で電話に出ることができます。

●**内線通話を保留するには**
①内線通話中に (保留) ボタンを押す
②お話しに戻るときは、(内線) ボタンを押す

お知らせ

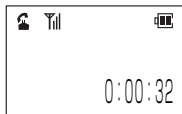
●索線ボタンに登録されている外線を保留にしたときは、個別保留となります。（BX-RMでは、索線ボタンは設定できません。）
●主装置の設定により、長時間保留のままにすると保留警報音が鳴ります（長時間保留警報）。

相手の方に待っていただくには（保留）

他の電話機で取れないように保留する（個別保留）

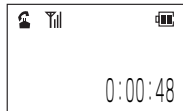
お話し中に、相手の方に待っていただくように伝えます。

1 (F) ボタンを押す。

2 (F) ボタンを押す。

3 (保留) ボタンを押す。

相手の方には保留メロディが流れます。
外線ランプが周期的に緑で2回点灯します。
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。

4 お話しに戻るときは、保留にしている外線ボタンを押して、相手の方とお話しする。

外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。
通話時間が表示されます。

ワンポイント

● **内線通話を保留するには**
①内線通話中に (保留) ボタンを押す
②お話しに戻るときは、(内線) ボタンを押す

お知らせ

●「個別保留」の手順1では、(F) ボタンを押したあと、6秒以内に次のボタンを押してください。6秒以上経過すると (F) ボタンの効果がキャンセルされます。（「F」ピクトの表示が消えます。）
●BX-RMでは、個別保留はご利用できません。システム保留のみご利用できます。

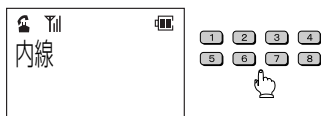
同じパーク保留ボタンを設定した電話機で取れるように保留する（パーク保留）

お話し中に「システム設定」した「パーク保留ボタン」を押すと、パーク保留となります。同一パーク保留グループ内の電話機であれば、保留中の内線／外線に応答することができます。

＜例＞外の相手の方とお話し中のとき

お話し中に、相手の方に待っていただくように伝えます。

1 パーク保留ボタンを押す。

相手の方には保留メロディが流れます。
パーク保留ランプが周期的に2回点灯します。
外線ランプが点灯します。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

2 お話しに戻るときは、パーク保留ボタンを押して、相手の方とお話しする。

外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。
通話時間が表示されます。

●**内線通話を保留するには**
①内線通話中に（保留）ボタンを押す
②お話しに戻るときは、（内線）ボタンを押す

●パーク保留ボタンは、主装置の設定により外線ボタンに設定できます。
BX-RMでは、パーク保留ボタンは設定できません。

同じ相手にかけ直すには（再ダイヤル）

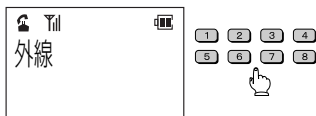
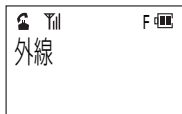
最後にかけた相手の方に、簡単にかけ直すことができます（再ダイヤル）。
相手の方がお話し中などでかけ直すときに便利です。

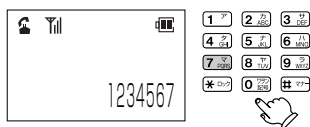
1 外線ボタンを押す。

「ツー」という発信音を確認してください。
外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

外線

2 Ⓕ ボタンを押す。

外線

3 〔7 マ PQRS〕を押す。

最後にかけた電話番号が表示され、自動的にダイヤルされます。

4 相手の方が出たら、お話しする。

通話時間が表示されます。

ワンポイント

●**PBXに接続しているときは**
発信時に、自動的に外線発信番号とポーズ（待ち時間）が入ります（自動ポーズ）。

●**電話番号を確認してから再ダイヤルするには（プリセットダイヤル）**
①待ち受け状態で、Ⓕ ボタンを押す
②〔7 マ PQRS〕を押す（登録されている電話番号が表示される）
③外線ボタンを押す

●**さらに前にかけた相手の方にかけるには（スタッキングダイヤル）**
①待ち受け状態で、Ⓕ ボタンを押す
②〔7 マ PQRS〕を押す
③Ⓕ ボタン、〔7 マ PQRS〕を繰り返して、かけたい相手の方の電話番号が表示されたら、外線ボタンを押す

●**ディジタルシステムコードレス電話機でダイヤルを記憶して電話をかけるには（☞P84）**
ディジタルシステムコードレス電話機が独自にダイヤルを記憶することもできます。
①待ち受け状態で、発信履歴ボタンを押す
②上下ボタンでかけたい相手の方の電話番号を表示させ、外線ボタンを押す

お知らせ

● Ⓕ ボタンを押したあと、6秒以内に次のボタンを押してください。6秒以上経過すると Ⓕ ボタンの効果がキャンセルされます。（「F」ピクトの表示が消えます。）
●スタッキングダイヤルで記憶されるダイヤルの数は、接続されている主装置により異なります。接続されている主装置の取扱説明書をご覧ください。
●接続されている主装置がαGX typeS/typeM、BX-MEの場合は、内線への再ダイヤルはご利用できません。
●BX-RMでは、内線および外線への再ダイヤルはご利用できません。

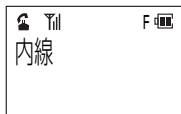
▶ *主装置側で「プリセレクションサービス」を利用されているときは（☞P114）*

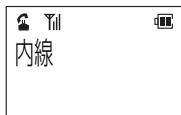
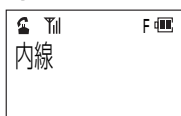
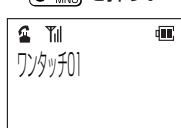
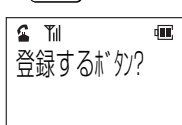
ワンタッチダイヤルを登録するには

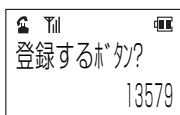
よくかける相手の電話番号をワンタッチダイヤルに登録しておくと、簡単に電話をかけることができます。

αGX typeLの場合

1 ☎ ボタンを押す。

「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

2 Ⓕ ボタンを押す。

3 # マナー ボタンを押す。

4 Ⓕ ボタンを押す。

5 ワンタッチダイヤルの番号 1 ア ～ 6 ハ MNO を押す。

6 登録する電話番号をダイヤルボタンで押す。

電話番号が表示されます。

7 Ⓕ ボタンを押す。

8 手順5で押したワンタッチダイヤルの番号（1 ア ～ 6 ハ MNO）を押す。

9 ☎ ボタンを押す。

ワンポイント

●登録した番号を変更するには、最初から登録し直してください。

お知らせ

● Ⓕ ボタンを押したあと、6秒以内に次のボタンを押してください。6秒以上経過すると Ⓕ ボタンの効果がキャンセルされます。（「F」ピクトの表示が消えます。）
●ワンタッチダイヤルは、電話番号を6か所まで登録することができます。

ワンタッチダイヤルを登録するには

αGX typeS/typeM、BX-MEの場合

ここでは、αGX typeS/typeMに接続した場合の液晶ディスプレイ表示を例に記述しています。

1 ボタンを押す。

「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

内線

2 F ボタンを押す。

内線

3 # マナー を押す。

4 F ボタンを押す。

内線

5 ワンタッチダイヤルの番号 1 ア ～ 6 ハ MNO を押す。

登録するﾎﾞﾀﾝ?

6 登録する電話番号をダイヤルボタンで押す。

電話番号が表示されます。

7 F ボタンを押す。

登録するﾎﾞﾀﾝ?
13579

8 手順5で押したワンタッチダイヤルの番号（1 ア ～ 6 ハ MNO）を押す。

9 ボタンを押す。

ワンポイント

- 登録した番号を変更するには、最初から登録し直してください。
- BX-RMでは、ワンタッチダイヤル（ F + 1 ア ～ 6 ハ MNO ）の代わりに外線が割り当てられていない外線ボタンを使用します。

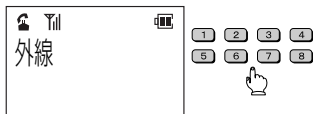
お知らせ

- F ボタンを押したあと、6秒以内に次のボタンを押してください。6秒以上経過すると無効となり、「F」ピクトの表示が消えます。
- ワンタッチダイヤルは、電話番号を6か所まで登録することができます。

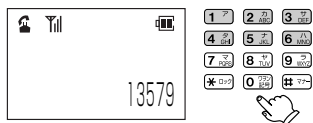
ワンタッチダイヤルで電話をかけるには

ワンタッチダイヤルでかける

1 外線ボタンを押す。

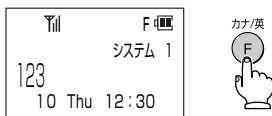
「ツー」という発信音を確認してください。外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

2 (F)ボタンを押す。

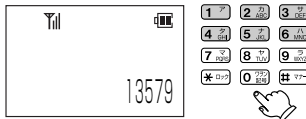
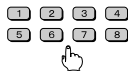
3 ワンタッチダイヤルの番号 [1 ア] ～ [6 ハ MNO] を押す。

登録されている電話番号が表示され、自動的にダイヤルされます。

4 相手の方が出たら、お話しする。

通話時間が表示されます。

電話番号を確認してからかける（プリセットダイヤル）

1 待ち受け状態で、(F)ボタンを押す。

2 ワンタッチダイヤルの番号 [1 ア] ～ [6 ハ MNO] を押す。

登録されている電話番号が表示されます。

3 外線ボタンを押す。

4 相手の方が出たら、お話しする。

通話時間が表示されます。

ワンポイント

●BX-RMでは、ワンタッチダイヤル（(F)＋[1 ア] ～ [6 ハ MNO]）の代わりに外線が割り当てられていない外線ボタンを使用します。

お知らせ

●(F)ボタンを押したあと、6秒以内に次のボタンを押してください。6秒以上経過すると(F)ボタンの効果がキャンセルされます。（「F」ピクトの表示が消えます。）

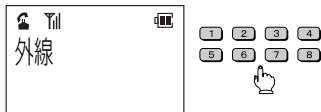
▶ *主装置側で「プリセレクションサービス」を利用されているときは（☛P114）*

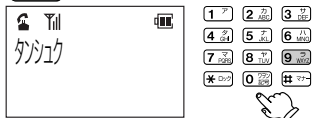
短縮ダイヤルで電話をかけるには（短縮ダイヤル）

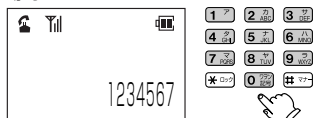
主装置に設定した共通短縮ダイヤルを利用して、ディジタルシステムコードレス電話機から電話をかけることができます。

共通短縮ダイヤルでかける

1 外線ボタンを押す。

「ツー」という発信音を確認してください。外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

2 Ⓕボタンを押す。

3 9 ラ WXYZ を押す。

4 共通短縮ダイヤルの短縮番号をダイヤルボタンで押す。

登録されている電話番号が表示され、自動的にダイヤルされます。

5 相手の方が出たら、お話しする。

通話時間が表示されます。

ワンポイント

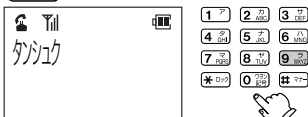
●**共通短縮ダイヤルについて**

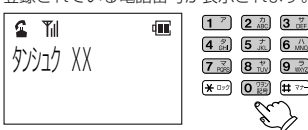
共通短縮ダイヤルは、主装置のメモリ検索機能を利用して発信します。なお、個別短縮ダイヤルについても同様にご利用になれます。

共通短縮ダイヤルの電話番号を確認してから電話をかける（プリセットダイヤル）

1 待ち受け状態で、Ⓕボタンを押す。

2 9 ラ WXYZ を押す。

タンシュク

3 共通短縮ダイヤルの短縮番号を押す。

登録されている電話番号が表示されます。

4 外線ボタンを押す。

お知らせ

● Ⓕボタンを押したあと、6秒以内に次のボタンを押してください。6秒以上経過するとⒻボタンの効果がキャンセルされます。（「F」ピクトの表示が消えます。）

●接続されている主装置の種類や設定により、ご利用になれる共通短縮ダイヤルの短縮番号が異なります。詳しくは、接続されている主装置の取扱説明書をご覧ください。

●αGXシリーズ、BXシリーズでは上下ボタンで短縮番号（メモリ番号）を選択できます。（ただし、主装置と接続装置の組み合わせによっては、ご利用できない場合があります。）

▶ *主装置側で「プリセレクションサービス」を利用されているときは（☞P114）*

電話を取りつぐには （保留転送）

外の相手の方とのお話しや内線通話を他の内線電話機に取りつぐことができます。

呼び出す方

お話し中に、相手の方に待っていただくように伝えます。

1 (保留)ボタンを押す。

相手の方には保留メロディが流れます。
外線ランプが周期的に緑で2回点灯します。
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。

2 呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押す。

呼出音が聞こえます。

3 呼び出された方が応答したら、電話を取りつぐことを伝え、(F)ボタン、[# マナー]の順に押す。

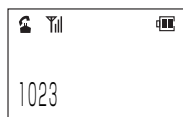
電話が転送され、呼び出された方がお話しできるようになります。

4 [☎]ボタンを押す。

呼び出される方

呼び出されると着信音が鳴り、着信ランプと内線ランプが点滅します。

1 [☎]ボタンを押す。

内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。

2 呼び出した方が転送操作を行うと電話がつながり、相手の方とお話しする。

お知らせ

- 「呼び出す方」の手順2のあと、「プープー…」という話中音が聞こえるときは、相手の方がお話し中です。
- 保留転送の操作を行っても、転送できない場合があります。その場合は接続されている主装置の取扱説明書をご覧ください。
- BX-RMでは、手順1、2の次に4を操作してください。

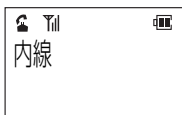
ワンポイント

- **呼び出される方が近くにいるときは（口頭転送）**
  「呼び出す方」の手順1の操作のあと、口頭で連絡してください。ディジタルシステムコードレス電話機で保留にしている外線ボタンを押すと、電話に出ることができます。
- **呼び出された方の応答を待たずに転送するには（呼出状態転送）**
  手順2で内線番号をダイヤルボタンで押したあと、(F)ボタン、[# マナー]ボタンを押して、[☎]ボタンを押します。
  ※BX-RMでは、呼出状態転送はご利用できません。
- **相手の方とのお話しに戻るには**
  呼び出された方が応答しなかったときは、保留にしている外線ボタンを押すと相手の方とのお話しに戻ることができます。
- **別の電話機で応答するには（代理応答）**
  着信音が鳴っている電話機の近くの方が不在のときなどは、代わりに応答することができます。（☛P51）

内線でお話しするには（内線通話）

呼び出す方

1 ［ ］ボタンを押す。

「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

2 呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押す。

呼出音が聞こえます。

3 呼び出された方が応答したら、お話しする。

4 お話しが終わったら、ボタンを押す。

呼び出される方

呼び出されると着信音が鳴り、着信ランプと内線ランプが点滅します。

1 ［ ］ボタンを押す。

内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。

●**別の電話機で応答するには（代理応答）**
着信音が鳴っている電話機の近くの方が不在のときなどは、代わりに応答することができます。（☛P51）

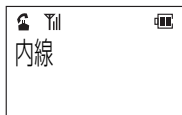
お知らせ

●「呼び出す方」の手順2のあと、「プープー…」という話中音が聞こえるときは、相手の方がお話し中です。

別の電話機で応対するには（代理応答）

着信音が鳴っている電話機の近くの方が不在のときなどは、代わりにディジタルシステムコードレス電話機で応答することができます。

1 ボタンを押す。

「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

2 統合代理応答用の番号（# マナー # マナー 【　　】）を押す。

全グループの着信に応答することができます。

3 相手の方とお話しする。

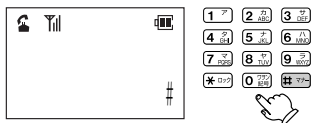
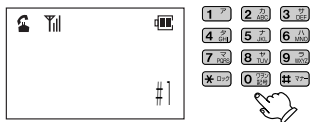
●**代理応答とは**

自グループ内の着信に応答したり、他グループの着信に応答したりすることができます。詳しくは接続されている主装置の取扱説明書をご覧ください。

プッシュホンサービスを利用するには　（DP→PB切替）

ダイヤル回線をご利用の場合でも、プッシュホンサービスをご利用になれます。

1 電話がつながったらPB送出用の ＃マナー ボタンを押す。

プッシュホンサービスを利用できる状態になります。

2 必要なダイヤルボタンを押す。

ワンポイント

●**プッシュホンサービスの種類**
- ・クレジット通話サービス
- ・ポケットベルサービス
- ・銀行ANSERサービス
- ・ホームテレホンによるテレコントロール
- ・留守番電話へのリモコン操作など

お知らせ

●銀行ANSERサービスなどの一部のシステムでは、プッシュホンサービスをご利用できない場合があります。

●DP→PB切替のあと、電話を切るとダイヤル信号に戻ります。

●ご利用中の回線がプッシュ回線かどうかは状態表示（☛P56）で確認できます。「PB」の表示がでなければダイヤル回線です。

空いている外線を選んで電話をかけるには　（空き外線自動捕捉）

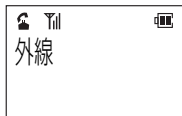
空いている外線を自動的に選んで、電話をかけることができます。「システム設定」により、外線発信と、自動発信可能な外線の中から選ぶ方法（外線群指定発信）が選択できます。

外線発信

1 ボタンを押す。

「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

2 外線発信番号（0 ワラン 記号【　　】）を押す。

「ツー」という発信音を確認してください。
空いている外線の外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

3 電話番号をダイヤルボタンで押す。

電話番号が表示されます。

4 相手の方が出たら、お話しする。

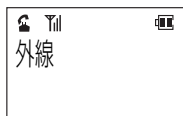
通話時間が表示されます。

自動発信可能な外線の中から選ぶ

1 ボタンを押す。

「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

2 外線群指定発信番号（【　】～【　】）をダイヤルボタンで押す。

「ツー」という発信音を確認してください。
対応する外線の外線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。

3 電話番号をダイヤルボタンで押す。

電話番号が表示されます。

4 相手の方が出たら、お話しする。

通話時間が表示されます。

お知らせ

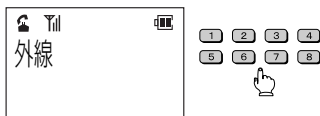
- 空いている外線がないときは、電話をかけられません。しばらく待ってからかけ直してください。
- 外線群指定発信番号は、接続されている主装置により異なります。詳しくは接続されている主装置の取扱説明書をご覧ください。
- BX-RMでは、外線群指定発信はご利用できません。

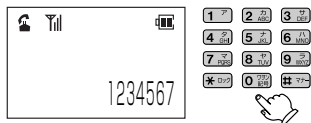
索線ボタンを使って電話をかけるには

「システム設定」で外線ボタンに索線ボタンを設定しているときは、索線グループ内の空いている外線を自動的に選んで電話をかけることができます。

外線発信

1 索線ランプが消えていることを確認し、索線ボタンを押す。

「ツー」という発信音を確認してください。
索線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

2 電話番号をダイヤルボタンで押す。

電話番号が表示されます。

3 相手の方が出たら、お話しする。

通話時間が表示されます。

ワンポイント

●**索線ランプが赤く点灯しているときは**
索線グループ内の外線が全部お話し中のため、電話をかけることはできません。

お知らせ

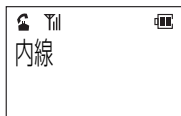
●索線ボタンは、主装置の設定により外線ボタンに設定されます。
●BX-RMでは、索線ボタンは設定できません。

▶ *PBXなどに接続しているときは（☛P114）*
▶ *主装置側で「プリセレクションサービス」を利用されているときは（☛P114）*

外部スピーカで音声ページングするには

主装置で「システム設定」された内線電話機から、構内放送用のスピーカで音声ページングができます。内線電話機も同時に音声ページングします。

1 ボタンを押す。

「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

2 音声ページング用の番号（9 3 1【　】）を押す。

ページンググループ応答番号（932【　】）が表示されます。
<例>ページンググループ応答番号が932の場合

3 お話しする。

お知らせ

●音声ページング用の番号は、接続されている主装置により異なります。詳しくは、接続されている主装置の取扱説明書をご覧ください。
●BX-RMでは、構内放送用のスピーカでの音声ページングはご利用できません。

サービス機能の登録状態を表示するには

主装置の機能により登録された状態をディジタルシステムコードレス電話機の液晶ディスプレイに表示することができます。

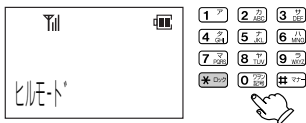
・アラーム　　　　　　　　　　・回線種別
・着信拒否　　　　　　　　　　・不在
・システムモード（昼／夜など）　・不在転送

また、INSネット64サービスの識別着信サービスも表示することができます。

1 (F)ボタンを押す。

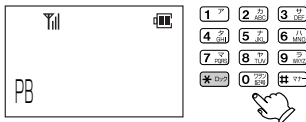
2 (＊ロック) ボタンを押す。

登録内容が表示されます。

ヒルモード

3 3秒以内に (F) ボタンを押す。

4 (＊ロック) ボタンを押す。

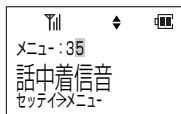
次の登録内容が表示されます。

PB

話中着信音を設定するには

通話中の着信音は、主装置の「システム設定」によりますが、「システム設定」で着信ありとなっている場合でも、ディジタルシステムコードレス電話機で、着信音の有無を設定できます。

話中着信音を設定する

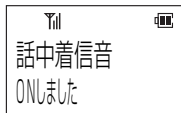
1 待ち受け状態で、決定ボタン、[3 サ DEF] [5 ナ JKL] の順に押す。

「話中着信音」が表示されます。

2 決定ボタンを押す。

「話中着信音 ON/OFF」が表示されます。

3 上ボタンで「ON」を選択する。

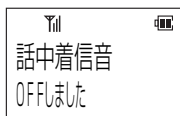
4 決定ボタンを押す。

話中着信音が設定されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

話中着信音を解除する

3 下ボタンで「OFF」を選択する。

4 決定ボタンを押す。

話中着信音が解除されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

公衆モードの使いかた

ディジタルシステムコードレス電話機は、モードを公衆モードに切り替えるとPHSサービスをご利用になれます。
PHSサービスをご利用になるには、PHS事業者と加入契約が必要です。
・PHSの加入契約は ディジタルシステムコードレス電話機ごとに必要です。契約の方法については、当社のサービス取扱所におたずねください。

PHSサービスの利用

PHSサービスに加入すると、ディジタルシステムコードレス電話機を屋外に持ち出して携帯電話のように電話をかけたり、受けたりすることができます。PHSサービスに加入すると、別途基本料金とPHSサービスの利用分の通話料金がかかります。
PHSサービスは、公衆基地局が設置されたサービスエリア内でのみご利用いただけます。詳しくはPHS事業者等へお問い合わせください。

PHSサービスを利用するモード

PHSサービスを利用するときはモードを「公衆モード」または「デュアルモード」に切り替えます。

・デュアルモードでお使いの場合は、公衆モードでお使いのときと比べて、電池の使用可能時間が短くなります。
・デュアルモードでは、PHSサービスエリア内で同時に自営で使える範囲にいるとき、公衆マークが表示されるとともに、液晶ディスプレイ上段にシステム名称が表示されます。

PHSサービスを利用して警察（110）、消防（119）にかけるときは

・立ち止まっておかけください。
　警察（110）、消防（119）へかけるときは、通話中にお話しが途切れることがないよう、立ち止まってご利用ください。
・通話終了後に電源を切らないでください。
　警察（110）、消防（119）からの呼び出しができなくなります。
・PHSからの通話であることをお伝えください。
　警察（110）、消防（119）での対応がスムーズに行えるよう、PHSからの通話であることをお伝えください。

詳細はPHS事業者にお問い合わせください。

PHSサービスで利用できる機能

電話帳ダイヤルで電話をかける
自営モードのときと同じように利用できます。

前にかけた相手に再びかける
10件まで相手の方の電話番号を記憶できます。<発信記録>（☛P84）

相手の方に待っていただく
相手の方には「ツツ」という音が流れ、こちらの声は聞こえなくなります。

かけてきた方の電話番号を表示したり、かけ直す
電話番号通知が設定された電話機からかかってきた電話のとき、相手の方の電話番号を記憶し、あとでかけ直すことができます。<着信記録>（☛P86）

公衆モードを表示する
・公衆モードであることを、あらかじめ設定した文字や数字によって液晶ディスプレイに表示できます。
・PHSサービスエリア内に入ったことを音で通知します。

電話をかけるとき、お客様ご自身のPHSサービスの電話番号を相手の方のPHS電話機等に通知する
ディジタルシステムコードレス電話機には、自分の電話番号をかけた相手の方の電話機等の液晶ディスプレイに表示させる機能があります。

ISDN端末等にサブアドレスを送る
<サブアドレスとは>
ISDN端末はふつうの電話番号に加えて端末独自の番号があります。この番号をサブアドレスといい、電話番号とサブアドレスをダイヤルすることで目的の端末だけを呼び出すことができます。公衆モードで電話をかける場合、この機能を利用することができます。

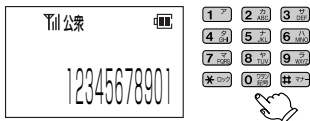
●電話番号を通知するには電話番号通知を設定する必要があります。<電話番号通知>（☛P108）
●PHSサービスエリア内に入ったことを知らせるためには設定操作が必要です。<公衆圏内通知>（☛P107）
●ISDN端末等にサブアドレスを送るためには設定操作が必要です。<サブアドレス通知>（☛P105）

電話をかけるには　（発信）

PHSサービスを使い、ディジタルシステムコードレス電話機から電話をかけることができます。

電話をかける

1 待ち受け状態で、相手の方の電話番号をダイヤルする。

電話番号が表示されます。

2 ボタンを押す。

表示されている電話番号がダイヤルされます。
しばらくすると相手の方を呼び出している音が聞こえます。

3 相手の方が応答したら、お話しする。

通話時間が表示されます。

4 通話が終わったら、 ボタンを押す。

ワンポイント

- 待ち受け状態で ボタンを押してから相手の電話番号をダイヤルして電話をかけることもできます。
- ISDN端末にサブアドレスを送るには、電話番号とサブアドレスの間に ボタンをダイヤルします。
  ISDN端末にサブアドレスを送るためには、ISDNサブアドレス通知を設定してください。（☛P105）
- 通話中にダイヤルボタンを押すと、プッシュホンサービスをご利用になれます。
- 前に電話をかけた相手に再びかけるには（☛P84）

お知らせ

- 自動車電話・携帯電話とは違いますので、自動車などで高速移動中には使用できません。
- かける相手の方が市内であっても、市外局番からダイヤルしてください。
- かけた相手の方により、「呼出中」と表示されない場合があります。

電話がかかってきたときは（着信）

PHSサービスを利用して電話がかかってくると、着信音が鳴ります。また、主装置によっては、ISDNなどの着信時に相手の方の電話番号が表示されます。

電話を受ける

待ち受け状態で電話がかかってくると、着信音が鳴ります。

1 ボタンを押す。

通話時間が表示されます。

2 電話をかけてきた相手の方とお話しする。

- **着信音が鳴っているときに ボタンを押すと、その着信に関してのみ着信音およびバイブレーションを止めることができます。**
- **ボタン以外のボタンを押して電話に出るには（エニーキー応答）**
  「エニーキー応答」が設定されていて、かつ主装置の設定で着信自動応答が設定されていると、電話がかかってきたときにダイヤルボタンを押して電話に出ることができます。（☛P103）
- **着信音の音量を変えるには（☛P32）**
- **相手の方の声が聞き取りにくいときは（受話音量）（☛P29）**
- **着信音を変えるには（☛P89）**
- **振動で着信を知らせるには（バイブレーション着信）（☛P90）**

お知らせ

- 相手の方の電話番号が通知されていると、相手の方の電話番号が表示されます。または、相手の方の電話番号がディジタルシステムコードレス電話機の電話帳に登録されている場合、相手の方の名前も表示されます。
- ディジタルシステムコードレス電話機のモードが異なっていたり電源を切っていると、電話がかかってきても受けられません。

相手の方に待っていただくには（保留）

お話しを一時中断して、相手の方に待っていただくときは保留機能をご利用ください。

通話を保留する

1 通話中に（保留）ボタンを押す。

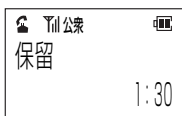
相手の方には保留音が流れ、こちらの声は聞こえなくなります。

保留
1:30

2 （保留）ボタンまたは（フック）ボタンを押して通話に戻る。

2:00

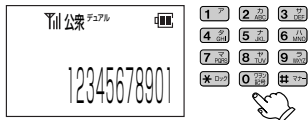
または

フック

●公衆モードで保留中に（☎）ボタンを押したり、クイック通話が設定されている状態で保留中にディジタルシステムコードレス電話機を充電器に置くと、通話が切れてしまいますのでご注意ください。
<クイック通話>（☛P101）

デュアルモードでPHSサービスを利用して電話をかけるには

デュアルモードでお使いの場合、PHSサービスエリア内で同時に自営で使える範囲にいるとき、PHSサービスを選択して電話をかけることができます。

1 待ち受け状態で、相手の電話番号をダイヤルする。

電話番号が表示されます。

2 Ⓕボタンを押す。

3 （フック）ボタンを押す。

表示されている電話番号がPHSサービスを利用してダイヤルされます。

お知らせ

- PHSサービスを利用して電話をかけるときは、必ず市外局番からダイヤルしてください。
- Ⓕボタンを押したあと、6秒以内に次のボタンを押してください。6秒以上経過すると無効となり、下の表示が消えます。

トランシーバモードの使いかた

トランシーバモードでは、同一の主装置に収容されたディジタルシステムコードレス電話機どうしで、接続装置や主装置を介さないで通話ができます。また、トランシーバグループ登録をすることで、同じ主装置に収容されていないディジタルシステムコードレス電話機どうしでも通話ができるようになります。
例えば、接続装置の電波の届かないサービスエリア外であるとか、サービスエリア内でも接続装置の無線チャネルが一杯で普通には通話のできない場合でも、ディジタルシステムコードレス電話機どうしで通話をすることができます。

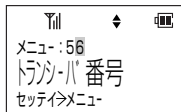
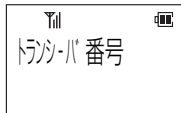
 お知らせ

- トランシーバモードで通話ができるのは2台ずつ1組です。同時に3人で会議通話のようなことはできません。
- トランシーバモードで通話をしている組が多い場合には、無線チャネルが一杯で新たに通話できない場合もあります。
- トランシーバモードで通話ができるのは、半径約100 mの範囲です。ただし間に障害物などがある場合など、周囲の状況によってはもっと短くなることがあります。
- 通話中、約3分ごとに約7秒間通話が途切れますが異常ではありません。通話が途切れる約20秒前に「プー」という予告音が受話口から聞こえます。また通話が途切れている間は、「ププ、ププ…」という音が受話口から聞こえます。
- 電波状態の悪いところでお使いの場合は、まれに通話の途中で切れてしまうことがあります。このときは再度呼び出してください。

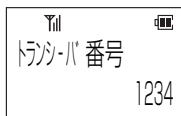
トランシーバモードの番号を設定するには

トランシーバモードの電話番号として、1桁から4桁の数字で1から7999までのどれか1つをこの電話機で設定することができます（8000から9999までの数字は使えません）。

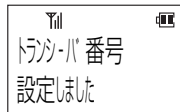
1 待ち受け状態で、決定ボタン、5 ナ JKL 6 ハ MNO の順に押す。

「トランシーバ番号」が表示されます。

2 決定ボタンを押す。

3 設定したいトランシーバモードの電話番号を入力する。

必ず1から7999までの数字を入力してください。

<例>1234の番号を設定するとき

4 決定ボタンを押す。

正常に設定されたときは「ピピ」という音がして待ち受け状態に戻ります。

8000以上の番号を入れるなど正常に設定できなかったときには、「ピピピピピ」という音がして番号入力待ちの状態に戻ります。このときは手順3から操作をやり直してください。

トランシーバ番号
設定しました

ワンポイント

- 設定されたトランシーバモードの電話番号は「電話番号を確認する」（☞P26）で確認できます。
- 使用者名表示が登録されていない場合、待ち受け状態のときにトランシーバ番号が表示されます。

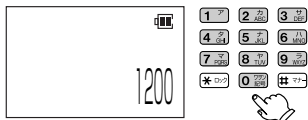
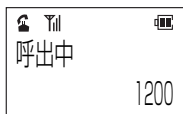
お知らせ

- 2つ以上のディジタルシステムコードレス電話機に同じ番号を設定すると、正常に呼び出しできないことがあります。絶対に同じ番号を設定しないでください。
- 当社製のディジタルシステムコードレス電話機以外の電話機とは通話できません。

トランシーバモードで電話をかけるには

電話をかける

1 待ち受け状態から、相手の方のトランシーバモードの電話番号をダイヤルする。

<例>1200番の人に電話するとき

2 ボタンを押す。

しばらくすると相手の方を呼び出している音が聞こえます。

ワンポイント

●前に電話をかけた相手に再びかけるには（☛P84）
●トランシーバモードで電話をかける前に
トランシーバモードに切り替えてお使いください。（☛P25）

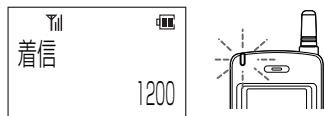
お知らせ

●待ち受け状態で ボタンを押してから相手の電話番号をダイヤルして電話をかけることもできます。

トランシーバモードで電話を受けるには

トランシーバモードを利用して電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが赤く点滅します。

電話を受ける

相手の方から呼び出しを受けると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅します。
<例>1200番の人から電話がかかってきたとき

1 ボタンを押す。

2 相手の方とお話しする。

3 お話しが終わったら、ボタンを押す。

トランシーバグループを登録するには

トランシーバグループ登録をすることで、同じ主装置に収容されていないディジタルシステムコードレス電話機どうしでもトランシーバ通話ができるようになります。
トランシーバグループ登録では、送信側の電話機から受信側の電話機にトランシーバグループのデータが転送されます。
また、以下の操作ではあらかじめトランシーバモードにしておき、登録開始の操作（手順6）を送信側と受信側でほぼ同時に行う必要があります。

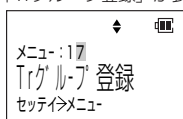
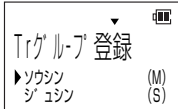
トランシーバグループ登録を行う

1 待ち受け状態で、決定ボタン、[1 ア] [7 マ PQRS] の順に押す。

「Trグループ登録」が表示されます。

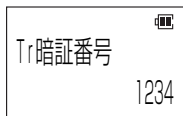
メニュー：17
Trグループ登録
セッテイ⇒メニュー

2 決定ボタンを押す。

Trグループ登録
▶ソウシン (M)
ジュシン (S)

送信側

3 上下ボタンで「ソウシン」を選択して、決定ボタンを押す。

4 受信側と同じ暗証番号4桁（0000～9999）を入力する。

Tr暗証番号
1234

5 上下ボタンで登録開始の「YES」を選択する。

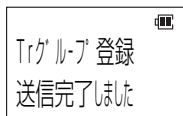
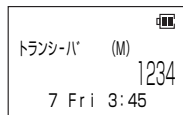
6 決定ボタンを押す。 同時（5秒以内）

Trグループ登録
送信完了しました

7 登録が完了したら [☎] ボタンを押す。

待ち受け状態に戻ります。

トランシーバ (M)
1234
7 Fri 3:45

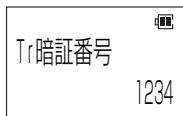
受信側

3 上下ボタンで「ジュシン」を選択して、決定ボタンを押す。

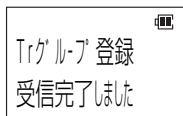
4 送信側と同じ暗証番号4桁（0000～9999）を入力する。

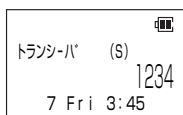
Tr暗証番号
1234

5 上下ボタンで登録開始の「YES」を選択する。

6 決定ボタンを押す。

Trグループ登録
受信完了しました

7 登録が完了したら [☎] ボタンを押す。

待ち受け状態に戻ります。

トランシーバ (S)
1234
7 Fri 3:45

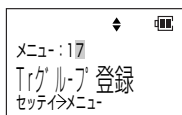
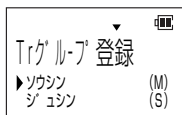
トランシーバグループ登録を解除するには

トランシーバグループ登録を解除することができます。

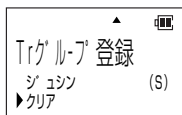
トランシーバグループ登録を解除する

1 **待ち受け状態で、決定ボタン、1 ア 7 マ PQRS の順に押す。**

「Trグループ登録」が表示されます。

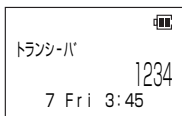
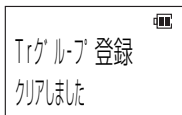
メニュー:17
Trグループ登録
セッテイ⇒メニュー

1 ア　2 カ ABC　3 サ DEF
4 タ GHI　5 ナ JKL　6 ハ MNO
7 マ PQRS　8 ヤ TUV　9 ラ WXYZ
＊ ロック　0 ワヲン 記号　# マナー

2 **決定ボタンを押す。**

3 **上下ボタンで「クリア」を選択する。**

4 **決定ボタンを押す。**

トランシーバグループ登録が解除され、待ち受け状態に戻ります。

Trグループ登録
クリアしました

トランシーバ
1234
7 Fri 3:45

ワンポイント

- **登録に失敗したときは、手順1からやり直してください。**

お知らせ

- トランシーバグループ登録を行うと、同一のグループ以外のディジタルシステムコードレス電話機とはトランシーバ通話ができなくなります。
- 3台以上でグループ登録を行うときは、送信側を特定の1台にして、残りを受信側にして登録してください。

文字を入力するには

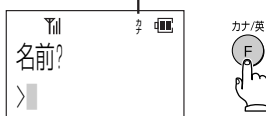
文字入力時には、「漢字」「ひらがな」「カタカナ」「英字」「数字」「絵文字」「記号」を入力することができます。 Ⓕ ボタンを押して入力モードを選択し、ダイヤルボタンで希望する文字を表示させて入力します。

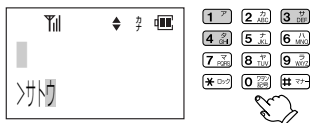
カタカナモード

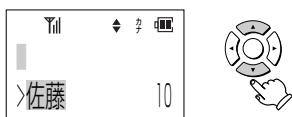
<例>「佐藤」と入力する場合

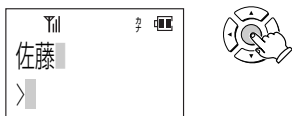
漢字、ひらがなおよびカタカナを入力することができます。

1 Ⓕ ボタンを押して入力モードを選択する。

カタカナモード

2 [3 サ DEF] を1回、[4 タ GHI] を5回、[1 ア] を3回押す。

カタカナを入力したい場合は決定ボタンを押します。

3 上下ボタンで文字を変換する。

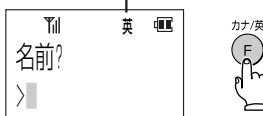
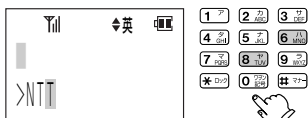
漢字→全角カタカナ→半角カタカナ→全角ひらがなの順に変換されます。
残り候補数が右端に表示されます。
入力したい文字に変換できない場合は、左右ボタンで変換対象を漢字1文字分にしたり、濁点や半濁点をはずしたり、読みかたを変えて（音読み/訓読み）入力し直してください。

4 入力したい文字が表示されたら決定ボタンを押す。

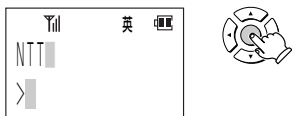
確定した文字が上段に移動します。

英字モード

<例>「NTT」と入力する場合

英字、絵文字および記号を入力することができます。

1 Ⓕ ボタンを押して入力モードを選択する。

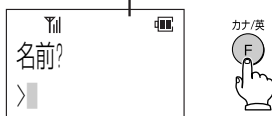
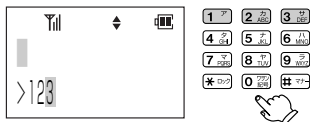
英字モード

2 [6 ハ MNO] を2回、[8 ヤ TUV] を1回、右ボタンを1回、[8 ヤ TUV] を1回押す。

3 決定ボタンを押す。

確定した文字が上段に移動します。

数字モード

<例>「123」と入力する場合

数字を入力することができます。

1 Ⓕボタンを押して入力モードを選択する。

数字モードのときはピクトが消えます。

2 1ア 2カABC 3サDEF の順に押す。

3 決定ボタンを押す。
確定した文字が上段に移動します。

ワンポイント

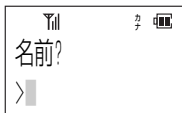
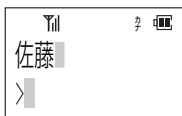
- 文字入力は文字が割り当てられているボタンを、入力したい文字が表示されるまで押してください。
  入力したい文字が表示されたら、別のボタンを押すか右ボタンを押してください。
  続けて同じボタン上の文字を入力するときは、右ボタンを押してカーソルを移動させてください。
- 文字入力を間違えたときは、クリアボタンを押してください。カーソルの位置の1文字が削除され、後ろの文字が詰められます。また、クリアボタンを1秒以上押し続けることで全桁削除することができます。
- 入力文字を修正したいときは、左右ボタンでカーソルを修正したい桁まで移動し、再度入力してください。
- 文字入力はカーソル位置への挿入となります。ただし、入力桁数を超えた場合は最後尾から削除されます。
- 文字を入力するときのカタカナ／英字／数字の各モードでの入力キーは以下のとおりです。Ⓕボタンを押すたびに入力モードが切り替わります。

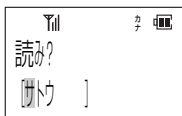
ボタン	カタカナモード	英字モード	数字モード
1 ア	アイウエオ ァィゥェォ	[illegible]	1
2 カ ABC	カキクケコ	ABCabc	2
3 サ DEF	サシスセソ	DEFdef	3
4 タ GHI	タチツテトッ	GHIghi	4
5 ナ JKL	ナニヌネノ	JKLjkl	5
6 ハ MNO	ハヒフヘホ	MNOmno	6
7 マ PQRS	マミムメモ	PQRSpqrs	7
8 ヤ TUV	ヤユヨャュョ	TUVtuv	8
9 ラ WXYZ	ラリルレロ	WXYZwxyz	9
0 ワヲン 記号	ワヲン゛゜ ー！？(空白)	―・&/[]＃＊ (空白)	0
(左ボタン)	カーソルを左に		
(右ボタン)	カーソルを右に		
F	英字モードにシフト	数字モードにシフト	カタカナモードにシフト
クリア	1文字削除		
クリア 1秒	全文字削除		

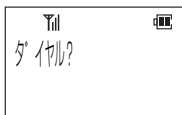
電話帳ダイヤルに登録するには

電話帳には500件の電話番号が登録できます。1件あたり、名前16文字（漢字8文字）、読み仮名6文字、ダイヤル24桁まで入力することができます。また、グループを選択することによりグループ登録を行うことができます。

1 待ち受け状態で、決定ボタン、📖ボタンの順に押す。

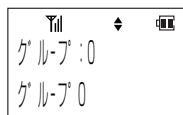
名前入力画面が表示されます。

2 登録する相手の名前を入力する。

3 決定ボタンを押す。

読み仮名入力画面が表示されます。
読み仮名は名前入力時に入力された6文字までがそのまま表示されます。

4 入力内容を確認し、決定ボタンを押す。

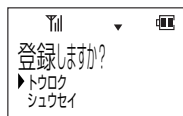
電話番号入力画面が表示されます。

5 登録する相手の電話番号を入力する。

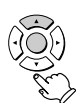
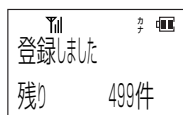
入力された電話番号が表示されます。

6 決定ボタンを押す。

グループ選択画面が表示されます。

7 上下ボタンでグループを選択する。

8 決定ボタンを押す。

登録確認画面が表示されます。

9 上ボタンで「トウロク」を選択し、決定ボタンを押す。

「ピピ」という確認音が鳴り、登録が完了します。

ワンポイント

●**文字を入力するには**
文字の入力、読み仮名の修正が行えます。（☛P70）
●**電話帳ダイヤルを修正する場合は、手順9で「シュウセイ」を選択します。**
●**読み仮名には、「カタカナ」「英字」「数字」「絵文字」「記号」が入力できます。**
●**電話番号の入力を間違えたときは、［クリア］ボタンを押してください。最後の桁から1桁ずつ削除されます。また、［クリア］ボタンを1秒以上押し続けることで全桁削除することができます。**
●**入力データ（下段）が何もないときに［クリア］ボタンを押すと、前画面に戻ることができます。**
●**電話番号にポーズを登録するには**
① （F）ボタン、（保留）ボタンに続けてポーズ時間を秒単位の数字1桁（1～9）で入力する。
ただし、先頭にポーズを登録することはできません。
② 複数のポーズを続けて登録することができます。
③ ポーズは1つでダイヤル2桁分に数えます。
●**電話番号にリモートダイヤルを登録するには**
① （F）ボタン、（保留）ボタンに続けて数字「0」（ポーズ0）を入力します。
② リモートダイヤルの操作は、電話帳ダイヤルで電話をかけたあと、［☎］ボタンを押すとポーズ0以降のダイヤルが送出されます。
●**電話帳ダイヤルには読み仮名または電話番号のどちらかを入力しないと登録できません。**
●**電話帳グループの名前を登録するには（☛P81）**
●**すでに500件登録されている状態で電話帳ダイヤル登録操作を行ったときは、「ピピピピピ」という警告音が鳴り「登録できません　残り　0件」と表示されて、約2秒後に待ち受け状態に戻ります。**

▶ *PBXなどに接続しているときは（☛P114）*

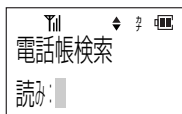
お知らせ

●手順1で（📖）ボタンを1秒以上押しても、名前入力画面が表示されます。
●手順6で［0 ﾜｦﾝ 記号］～［9 ﾗ WXYZ］を押しても、グループが選択できます。
●自営モードでPBXなどの交換機に接続されている外線へ発信する場合は、外線発信番号と相手の方の電話番号を登録しておく必要があります。
●PHSサービスで電話帳ダイヤルを利用するときは必ず市外局番から登録してください。
●操作中に電話がかかってくると、登録操作は無効になります。

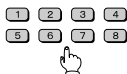
電話帳ダイヤルでかけるには

電話帳には500件の電話番号が登録できます。登録されている電話番号を50音順、読み仮名、電話帳グループのいずれかで検索してから電話をかけることができます。

50音順で検索してかける

1 待ち受け状態で、(📖)ボタンを押す。

2 上下ボタンで目的の電話帳ダイヤルを表示させる。

3 外線ボタンを押す。

検索した電話番号がダイヤルされます。

しばらくすると相手の方を呼び出している音が聞こえます。

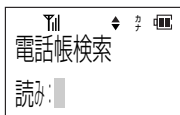
4 相手の方が応答してから、お話しする。

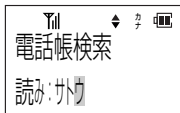
ワンポイント

- 検索順序は次のとおりです。
  - ① 読み仮名なし
  - ② 絵文字（ ）
  - ③ 空白（スペース）
  - ④ 記号（!、#、&、＊、-、/）
  - ⑤ 数字（0〜9、?）
  - ⑥ 英字（A〜Z、[、]、a〜z）
  - ⑦ カタカナ（・、ヲ、ァ〜ッ、ー、ア〜ン、゛、゜）
- 電話帳ダイヤル検索中に [0 ワラン記号] 〜 [9 ラWXYZ] を押すことで、ア行〜ワ行で始まる読み仮名を検索表示します。

読み仮名を検索してかける

1 待ち受け状態で、(📖)ボタンを押す。

電話帳検索
読み：

2 検索したい読み仮名を入力する。

(F)ボタンを押して入力モードを選択してください。
入力できる読み仮名は6文字までです。

電話帳検索
読み：サトウ

3 上下ボタンを押して選択する。

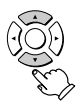
佐藤
0312345678

4 外線ボタンを押す。

検索した電話番号がダイヤルされます。

佐藤
0312345678

しばらくすると相手の方を呼び出している音が聞こえます。

0312345678

5 相手の方が応答してから、お話しする。

ワンポイント

- 公衆・トランシーバモードで電話をかけるときは、[☎]ボタンを押してください。
- どの検索方法の場合でも、検索中に上ボタンまたは下ボタンを1秒以上押し続けると、押している間は液晶ディスプレイの表示がスクロールします。
- 読み仮名の入力を間違えたときは、[クリア]ボタンを押してください。カーソルの位置の1文字が削除され、後ろの文字が詰められます。また、[クリア]ボタンを1秒以上押し続けることで、全桁削除することができます。
- 読み仮名検索の場合で、入力した読み仮名の登録がない場合は、その近くのデータを表示します。
- 電話帳ロックを設定しているときは電話帳は使えません。〈電話帳ロック〉（☛P97）
- 電話帳に登録された番号が内線番号の場合は、手順4で外線ボタンの代わりに内線ボタンを押してください。

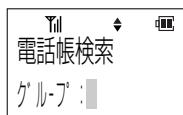
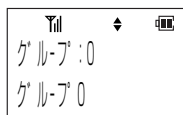
お知らせ

- 名前のみ登録されている内容を読み出した状態で[☎]ボタンを押しても操作は無効になります。
- 電話帳ダイヤルに1件も登録していないときは、(📖)ボタンを押しても操作は無効になります。

電話帳ダイヤルでかけるには

電話帳グループの電話番号を検索してかける

1 待ち受け状態で、続けて2回 (📖) ボタンを押す。

もう一度 (📖) ボタンを押すと待ち受け状態に戻ります。

2 上下ボタンで目的のグループを表示させる。

3 決定ボタンを押す。

4 上下ボタンを押して選択する。

選択したグループ内の電話帳ダイヤルが表示されます。

5 外線ボタンを押す。

検索した電話番号がダイヤルされます。

佐藤
0312345678

しばらくすると相手の方を呼び出している音が聞こえます。

6 相手の方が応答してから、お話しする。

ワンポイント

●検索順序は次のとおりです。
① 読み仮名なし
② 絵文字（[絵文字]）
③ 空白（スペース）
④ 記号（!、#、&、＊、-、/）
⑤ 数字（0～9、?）
⑥ 英字（A～Z、[、]、a～z）
⑦ カタカナ（・、ヲ、ｧ～ｯ、 ー 、ア～ン、゛、゜）

●手順4で電話帳ダイヤル検索中に [0 ワヲン 記号] ～ [9 ラ WXYZ] を押すことで、ア行～ワ行で始まる読み仮名を検索表示します。

●公衆・トランシーバモードで電話をかけるときは、[☎] ボタンを押してください。

●どの検索方法の場合でも、検索中に上ボタンまたは下ボタンを1秒以上押し続けると、押している間は液晶ディスプレイの表示がスクロールします。

●電話帳グループ検索の場合、登録が1件もないグループは表示されません。

●電話帳ロックを設定しているときは電話帳は使えません。〈電話帳ロック〉（☛P97）

お知らせ

●名前のみ登録されている内容を読み出した状態で [☎] ボタンを押しても操作は無効になります。

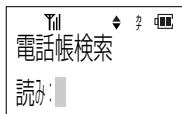
●電話帳ダイヤルに1件も登録していないときは、(📖) ボタンを押しても操作は無効になります。

電話帳ダイヤルを修正するには

50音順、読み仮名または電話帳グループのいずれかで、登録された電話番号を検索したあと、電話帳ダイヤルを修正することができます。

1 待ち受け状態で、(📖) ボタンを押す。

読み仮名入力画面が表示されます。

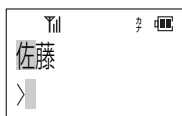
電話帳検索
読み:

2 読みを入力して、修正する電話帳ダイヤルを選択する。

佐藤
0312345678

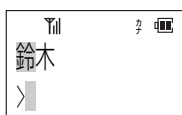
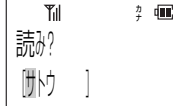
3 決定ボタンを押す。

佐藤
▶シュウセイ
サクジョ

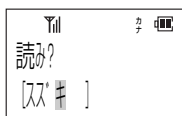
4 上ボタンで「シュウセイ」を選択し、決定ボタンを押す。

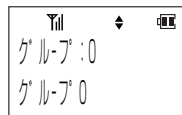
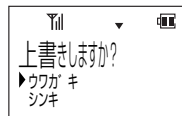
名前修正画面が表示されます。

5 名前を修正する。

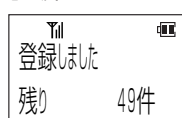
<例>「佐藤」を「鈴木」に修正する場合

鈴木
〉

6 決定ボタンを押す。

7 読み仮名を修正し､決定ボタンを押す。

読み?
[スズキ]

8 電話番号を修正し､決定ボタンを押す。

グループ:0
グループ0

9 グループを選択し､決定ボタンを押す。

10 上ボタンで「ウワガキ」を選択し、決定ボタンを押す。

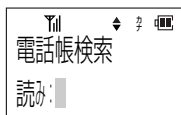
元の電話帳データが上書きされます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

ワンポイント

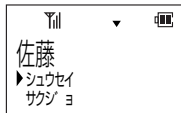
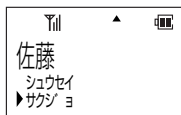
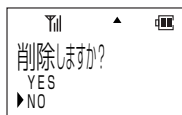
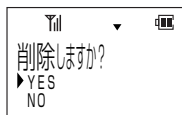
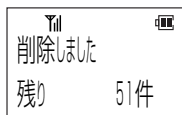
- 電話番号を修正するには（☛P73）
- 文字を修正するには（☛P71）
- 「シンキ」を選択した場合は、元の電話帳データは修正せずに新規の登録になります。
- 「シンキ」を選択した場合で、すでに500件登録されているときは
  「ピピピピピ」という警告音が鳴り「登録できません 残り 0件」が表示されます。そして、約2秒後に「上書きしますか？」の表示に戻ります。
- 手順9で「シュウセイ」を選択した場合は、登録は行わず名前修正画面に戻ります。

電話帳ダイヤルを削除するには

50音順、読み仮名または電話帳グループのいずれかで、登録された電話番号を検索したあと、電話帳ダイヤルを削除することができます。また、電話帳ダイヤルの全データを消去することもできます。

登録データを削除する

1 待ち受け状態で、(📖)ボタンを押す。
読み仮名入力画面が表示されます。

2 読みを入力して、削除する電話帳ダイヤルを選択する。

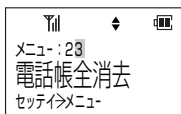
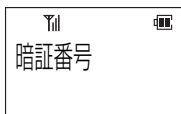
3 決定ボタンを押す。

4 下ボタンで「サクジョ」を選択する。

5 決定ボタンを押す。
「削除しますか？」が表示されます。

6 上ボタンで「YES」を選択する。

7 決定ボタンを押す。
「ピピ」という確認音が鳴り内容が削除され、待ち受け状態に戻ります。

ワンポイント

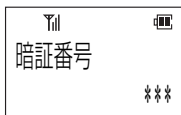
● 手順6で「NO」を選択した場合は、データの削除は中止され、待ち受け状態に戻ります。

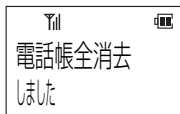
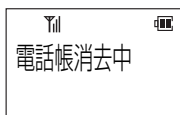
電話帳ダイヤルを削除するには

全登録データを消去する

1 **待ち受け状態で、決定ボタン、2(カ ABC) 3(サ DEF)の順に押す。**
「電話帳全消去」が表示されます。

メニュー：23
電話帳全消去
セッテイ→メニュー

2 **決定ボタンを押す。**

3 **登録している暗証番号（4桁）を入力する。**

4 **上ボタンで「YES」を選択する。**

5 **決定ボタンを押す。**
「電話帳消去中」が表示されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

電話帳全消去
しました

- **暗証番号が登録されていないときは〈暗証番号を新規に登録する〉（☛P94）**
  「暗証番号未登録です」と表示され、「ピピピピピ」という警告音が鳴ります。電話帳全消去は行えません。
- **手順4で「NO」を選択した場合は、電話帳全消去は中止され、待ち受け状態に戻ります。**

お知らせ

- 登録されている暗証番号と入力暗証番号が違うときには、「ピピピピピ」という警告音が鳴ります。

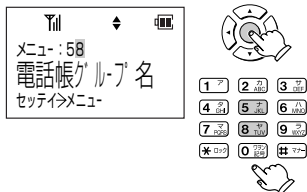
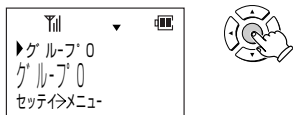
電話帳グループの名前をつけるには

電話帳グループに「得意先」、「友人」などグループの名前を設定することができます。

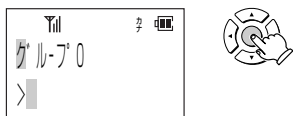
グループ名をつける

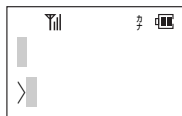
1 待ち受け状態で、決定ボタン、[5 ナ JKL] [8 ヤ TUV] の順に押す。

「電話帳グループ名」が表示されます。

メニュー：58
電話帳グループ名
セッテイ⇒メニュー

2 決定ボタンを押す。

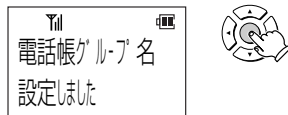
3 上下ボタンでグループを選択する。

4 決定ボタンを押す。

5 クリアボタンを1秒以上押す。

現在のグループ名を消去します。

6 グループ名を入力する。

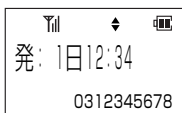
<例>「得意先」と入力した場合

7 決定ボタンを押す。

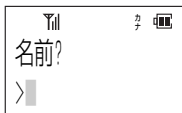
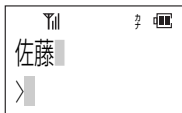
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

●文字を入力するには（☛P70）

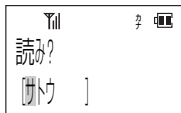
発信記録や着信記録の電話番号を登録するには

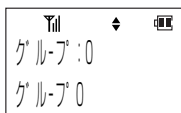
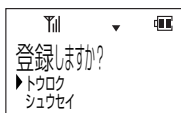
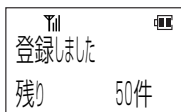
発信記録や着信記録の電話番号を電話帳ダイヤルに登録することができます。

1 発信履歴ボタンまたは着信履歴ボタンを押して、登録する発信記録または着信記録を選択する。

2 決定ボタンを押す。

3 上下ボタンで「デンワチョウトウロク」を選択する。

4 決定ボタンを押す。
名前入力画面が表示されます。

5 名前を入力する。

6 決定ボタンを押す。

7 読み仮名を修正する。

8 決定ボタンを押す。
登録する相手の電話番号が表示されます。

9 決定ボタンを押し、上下ボタンでグループを選択する。

10 決定ボタンを押す。
登録確認画面が表示されます。

11 上ボタンで「トウロク」を選択し、決定ボタンを押す。

ワンポイント

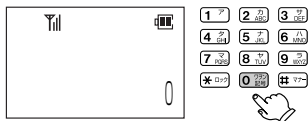
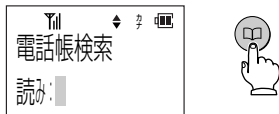
- 文字を入力するには（☛P70）
- すでに500件登録されているときは（☛P73）
- ネーム・ディスプレイで発信者名が通知されているときは、手順4で決定ボタン押下後に、発信者名が入力済みになっています。

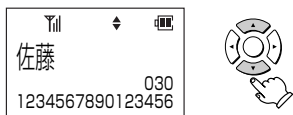
電話番号を組み合わせてかけるには

外線発信特番などと電話帳ダイヤルを組み合わせて発信することができます。

電話番号を組み合わせて発信する

＜例＞外線発信番号“0”と電話帳ダイヤルの組み合わせ

1 [0 ワラン記号] を押す。

2 (📖) ボタンを押す。

3 上下ボタンで組み合わせる電話帳データを検索する。

4 [☎] ボタンを押す。

ワンポイント

●電話帳ダイヤルを検索するには（☞P74）
●公衆モードで電話をかけるときは、[☎] ボタンを押してください。

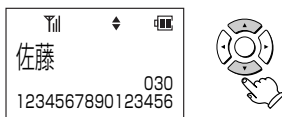
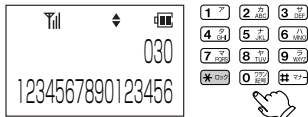
お知らせ

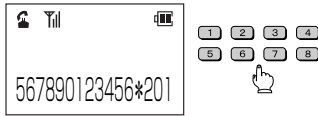
●BX-RMでは、電話帳ダイヤルと外線発信特番などを組み合わせて発信することはできません。

追加ダイヤルを組み合わせて発信する

＜例＞電話帳ダイヤルのあとにサブアドレスダイヤル“＊201”を追加する

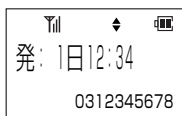
1 (📖) ボタンを押す。

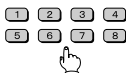
2 上下ボタンで組み合わせる電話帳データを検索する。

3 [＊ ロック] ボタンを押す。

4 [＊ ロック] [2 カ ABC] [0 ワラン 記号] [1 ア] の順に押す。

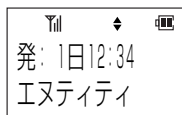
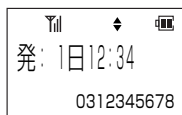
5 外線ボタンを押す。

前に電話をかけた相手に再びかけるには（発信記録）

こちらからかけた電話番号を最大10件記録することができます。その電話番号を呼び出して、電話をかけることができます。
電話番号は1件につき24桁まで記録できます。

かけた相手に再びかける

1 待ち受け状態で、発信履歴ボタンを押す。
発信記録が新しい順に表示されます。

2 上下ボタンでかけたい相手を選択する。

3 外線ボタンを押す。
表示されている電話番号がダイヤルされます。

電話帳にネーム情報が登録されているとき

1 待ち受け状態で、発信履歴ボタンを押す。
発信記録が新しい順に表示されます。
電話帳のネーム情報が表示されます。

2 ＃マナー ボタンを押す。
電話番号に切り替わります。

ワンポイント

- 相手の方の電話番号が電話帳に登録されている場合は名前が表示されます。
- 公衆・トランシーバモードで電話をかけるときは、（外線）ボタンを押してください。

お知らせ

- 発信記録は電源を切っても保持されます。

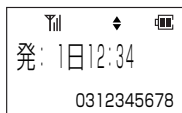
発信記録を削除するには

発信記録を検索したあとに削除することができます。また、発信記録の全データを一度に削除することもできます。

記録されたデータの削除

1 待ち受け状態で、発信履歴ボタンを押す。

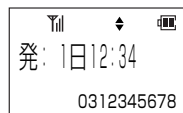
発信記録が新しい順に表示されます。

2 上下ボタンで削除する発信記録を選択する。

3 決定ボタンを押す。

4 上ボタンで「サクジョ」を選択して、決定ボタンを押す。

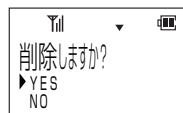
「ピピ」という確認音が鳴ります。
発信記録が削除され、待ち受け状態に戻ります。

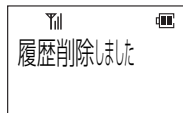
記録された全データの削除

1 待ち受け状態で、発信履歴ボタンを押す。

発信記録が新しい順に表示されます。

2 決定ボタンを押す。

3 下ボタンで「ゼンタイサクジョ」を選択して、決定ボタンを押す。

4 上ボタンで「YES」を選択する。

5 決定ボタンを押す。

「ピピ」という確認音が鳴ります。
発信記録の全データが削除され、待ち受け状態に戻ります。

ワンポイント

●全データの削除で、「NO」を選択した場合は、全データの削除が中止され、待ち受け状態に戻ります。

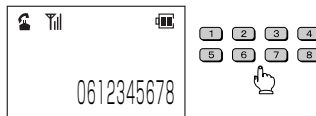
電話をかけてきた相手にこちらからかけるには（着信記録）

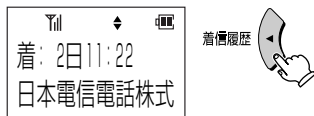
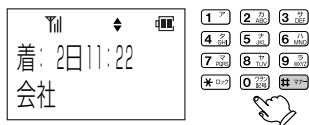
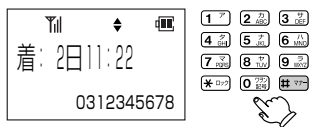
電話がかかってきたときに、発信番号が通知されている場合は、その電話番号を最大10件記録することができます。その電話番号を呼び出して、電話をかけることができます。
電話番号は1件につき24桁まで記録できます。

かけてきた相手にこちらからかける

1 **待ち受け状態で、着信履歴ボタンを押す。**
着信記録が新しい順に表示されます。

2 **上下ボタンでかけたい相手先を選択する。**

3 **外線ボタンを押す。**
表示されている電話番号がダイヤルされます。

ネーム・ディスプレイで発信者名が通知されているとき

1 **待ち受け状態で、着信履歴ボタンを押す。**
着信記録が新しい順に表示されます。
ネーム・ディスプレイ情報の先頭8文字（全角）が表示されます。

2 **# マナー ボタンを押す。**
ネーム・ディスプレイ情報が8文字（全角）を超える場合、その超過分が表示されます。

3 **# マナー ボタンを押す。**
電話番号に切り替わります。

4 **# マナー ボタンを押す。**
手順1の状態に戻ります。

ワンポイント

●発信者番号が通知されている電話に出られなかったときは、待ち受け状態で☎マークが表示されます。
●電話に出られなかった着信記録の表示は、時刻の右側に「＊」が表示されます。
●発サブアドレスが通知されている場合には、発サブアドレスも記録されます。（区切り文字は「＊」です。）
●かけてきた相手の方の電話番号が、電話帳に登録されている場合は名前が表示されます。
●公衆・トランシーバモードで電話をかけるときは ☎ ボタンを押してください。

お知らせ

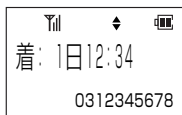
●着信記録は電源を切っても保持されます。

着信記録を削除するには

着信記録を検索したあとに削除することができます。また、着信記録の全データを一度に削除することもできます。

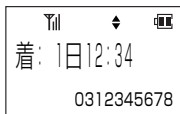
記録されたデータの削除

1 待ち受け状態で、着信履歴ボタンを押す。
着信記録が新しい順に表示されます。

2 上下ボタンで削除する着信記録を選択する。

3 決定ボタンを押す。

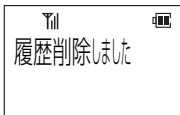
4 上ボタンで「サクジョ」を選択して、決定ボタンを押す。
「ピピ」という確認音が鳴ります。
着信記録が削除され、待ち受け状態に戻ります。

記録された全データの削除

1 待ち受け状態で、着信履歴ボタンを押す。
着信記録が新しい順に表示されます。

2 決定ボタンを押す。

3 下ボタンで「ゼンタイサクジョ」を選択して、決定ボタンを押す。

4 上ボタンで「YES」を選択する。

5 決定ボタンを押す。
「ピピ」という確認音が鳴ります。
着信記録の全データが削除され、待ち受け状態に戻ります。

ワンポイント

●全データの削除で、「NO」を選択した場合は、全データの削除が中止され、待ち受け状態に戻ります。

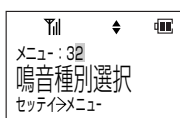
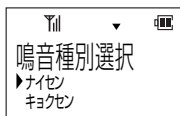
着信の種類ごとに音を変えるには

音を変えることのできる着信の種類は、内線着信、外線着信、PBX/CES着信、時計アラーム、公衆（PHS）着信、トランシーバ着信、ドアホン着信です。それぞれの着信の種類に対応する着信音を設定できます。

内線着信の着信音を変更する

1 待ち受け状態で、決定ボタン、3 サ DEF 2 カ ABC の順に押す。

「鳴音種別選択」が表示されます。

メニュー：32
鳴音種別選択
セッテイ⇒メニュー

2 決定ボタンを押す。

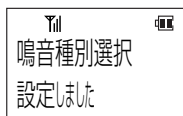
3 決定ボタンを押す。

現在設定している着信音が鳴ります。

4 上下ボタンで音の種類を選択する。

上下ボタンを押すたびに選択された着信音が鳴ります。

5 決定ボタンを押す。

「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

ワンポイント

- **選択できる着信音は以下のとおりです。**

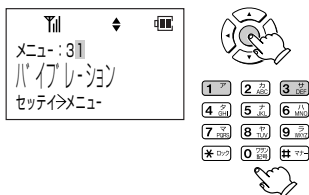
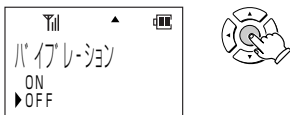
  パターン1～6
  ドアホン1～2
  メロディ1：エンターテナー／ジョプリン
  メロディ2：四季～春～／ビバルディ
  メロディ3：軍隊行進曲／シューベルト
  メロディ4：アビニヨンの橋の上で／フランス民謡
  メロディ5：故郷の空／スコットランド民謡

着信を振動で知らせるには（バイブレーション着信）

バイブレーション着信を設定すると、着信音量に関係なく着信を振動でお知らせします。また、着信音を鳴らす設定にしているときは、着信音とバイブレーション着信が同時に行われます。

バイブレーション着信を設定する

1 待ち受け状態で、決定ボタン、3 サ DEF 1 ア の順に押す。

「バイブレーション」が表示されます。

2 決定ボタンを押す。

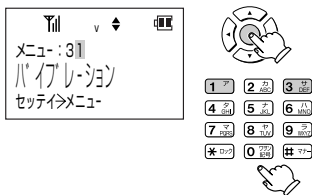
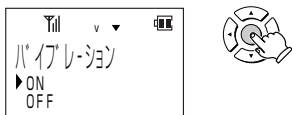
3 上ボタンで「ON」を選択する。

4 決定ボタンを押す。

バイブレーション着信が設定されます。「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

バイブレーション着信を解除する

1 待ち受け状態で、決定ボタン、3 サ DEF 1 ア の順に押す。

「バイブレーション」が表示されます。

2 決定ボタンを押す。

3 下ボタンで「OFF」を選択する。

4 決定ボタンを押す。

バイブレーション着信が解除されます。「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

ワンポイント

- バイブレーション着信を設定すると、「V」ピクトが点灯します。
- 着信音量を「ステップトーン」に、バイブレーションをONに設定すると、約10秒間バイブレーションを行ったあとにステップトーンの着信音となります。このとき、バイブレーションは停止します。
- マナーモードになっている場合は、マナー設定のバイブレーションの設定に従います。(☛P91)

- 充電中はバイブレーションになりません。このとき充電器から取りあげても、バイブレーションとはなりません。

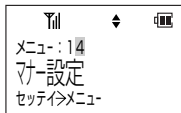
マナーモードを設定するには

周囲の迷惑にならないように、あらかじめ着信音、確認／警告音、バイブレーションのON/OFFなどのマナーモードの機能をそれぞれ設定しておくことができます。マナーボタンを押すと、設定した内容に一時的に変更できます。

マナーモードの機能を設定する

1 待ち受け状態で、決定ボタン、1 ア 4 タ GHI の順に押す。

「マナー設定」が表示されます。

メニュー：14
マナー設定
セッテイ→メニュー

2 決定ボタンを押す。

3 上下ボタンで着信音の「ON／OFF／オートオフ」を選択する。

着信音
▶OFF
オートオフ

4 決定ボタンを押す。

5 上下ボタンで確認／警告音の「ON/OFF」を選択する。

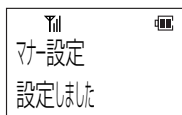
6 決定ボタンを押す。

7 上下ボタンでバイブレーションの「ON/OFF」を選択する。

8 決定ボタンを押す。

「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

お知らせ

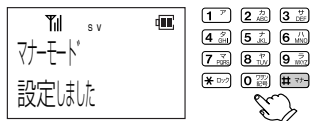
●充電中はバイブレーションになりません。

ワンポイント

●マナーモードの設定は、電源を切っても保持されます。
●着信音量を「ステップトーン」に、バイブレーションをONに設定すると、約10秒間バイブレーションを行ったあとにステップトーンの着信音となります。このとき、バイブレーションは停止します。
●着信音をオートオフに設定すると、着信音が約30秒間鳴ったあとに停止します。そのあと、新たな着信（優先度の高い着信）があると、再び着信音が約30秒間鳴ります。

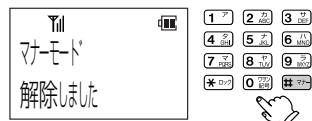
マナーモードを設定するには

マナーモードを設定する

1 待ち受け状態で、[# マナー] ボタンを1秒以上押す。

マナーモードに設定されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

マナーモードを解除する

1 マナーモード状態で、[# マナー] ボタンを1秒以上押す。

マナーモードが解除されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

ワンポイント

- **マナーモードを設定すると、待ち受け状態で「マナー」マークが表示されます。**
- **マナーモードを設定すると、マナーモードの機能の設定に従って「S」「V」ピクトが点灯します。**

お知らせ

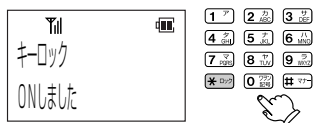
- キーロック中はマナーモードの設定操作および解除操作は無効となります。
- マナーモードを設定したときの確認音はマナーモードの機能の設定により鳴らない場合があります。

誤操作を防止するには　（キーロック）

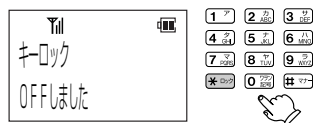
電話機を持ち歩くときなどに間違えてボタンを押してしまわないようにするには、キーロックを設定すると便利です。

キーロックを設定する

1 待ち受け状態で、［＊ ロック］ボタンを1秒以上押す。

キーロックが設定されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

キーロックを解除する

1 キーロック状態で、［＊ ロック］ボタンを1秒以上秒押す。

キーロックが解除されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

ワンポイント

- キーロックの設定は電源を切ると解除されます。
- 電話がかかってきたときに、［☎］ボタンを1秒以上押すと電話を受けることができ、通話中は一時解除されます。通話を切ると再びキーロックが設定されます。
- エニーキー応答設定がONのときも、キーロックが優先されます。
- 通話中にはキーロックの設定操作、解除操作はできません。
- キーロック中であっても時刻のアラーム鳴音停止、着信中の鳴音停止（クイックサイレント）を［☎］ボタンを押して行うことができます。

お知らせ

- キーロック中にボタンを押すと、液晶ディスプレイに「キーロック」と一定時間表示されます。このとき、液晶バックライト・ダイヤルライトは点灯しません。

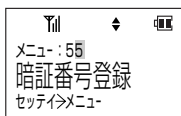
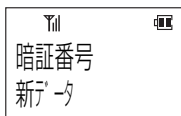
暗証番号を登録／変更するには

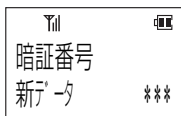
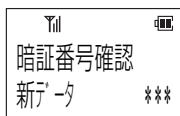
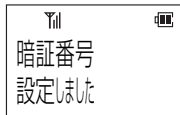
暗証番号（4桁）は、ダイヤルロックや電話帳ロックを設定したり解除したりするために必要です。暗証番号は4桁の数字を使って登録します。

暗証番号を新規に登録する

1 **待ち受け状態で、決定ボタン、[5 ナ JKL] [5 ナ JKL] の順に押す。**

「暗証番号登録」が表示されます。

メニュー：55
暗証番号登録
セッテイ→メニュー

2 **決定ボタンを押す。**

暗証番号
新データ

3 **暗証番号4桁を入力する。**

4 **暗証番号4桁を確認のため、もう一度入力する。**

暗証番号が登録されます。

「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

ワンポイント

- **登録済み暗証番号や確認のための暗証番号を間違って入力すると、「ピピピピピ」という警告音が鳴ります。**

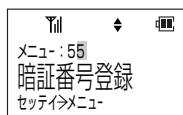
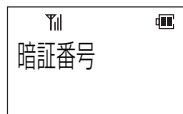
お知らせ

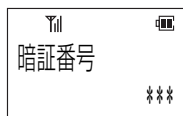
- 登録した暗証番号は、ダイヤルロックや電話帳ロックを解除するときに必要ですので、メモを取っておくなどして忘れないように気を付けてください。万一、登録した暗証番号を忘れてしまったときは、当社のサービス取扱所にご相談ください。
- 暗証番号の削除はできません。
- 登録した暗証番号は、電源を切っても保持されます。
- 入力した番号は「＊」で表示されます。

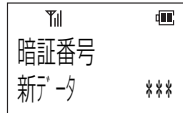
暗証番号を変更する

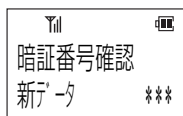
1 **待ち受け状態で、決定ボタン、5(ナ JKL) 5(ナ JKL) の順に押す。**

「暗証番号登録」が表示されます。

メニュー：55
暗証番号登録
セッテイ⇒メニュー

2 **決定ボタンを押す。**

暗証番号

3 **登録済みの暗証番号4桁（0000〜9999）を入力する。**

暗証番号
＊＊＊

4 **新しい暗証番号4桁を入力する。**

暗証番号
新データ　＊＊＊

5 **新しい暗証番号4桁を確認のため、もう一度入力する。**

暗証番号が変更されます。

「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

●**登録済み暗証番号や確認のための暗証番号を間違って入力すると、「ピピピピピ」という警告音が鳴ります。**

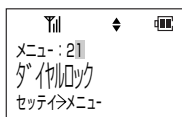
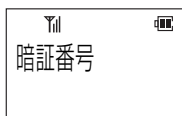
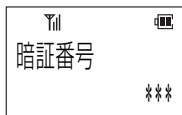
●登録した暗証番号は、ダイヤルロックや電話帳ロックを解除するときに必要ですので、メモを取っておくなどして忘れないように気を付けてください。万一、登録した暗証番号を忘れてしまったときは、当社のサービス取扱所にご相談ください。
●暗証番号の削除はできません。
●登録した暗証番号は、電源を切っても保持されます。
●入力した番号は「＊」で表示されます。

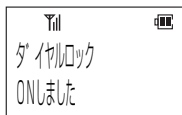
電話をかけられないようにするには（ダイヤルロック）

登録した暗証番号を入力してダイヤルロックを設定することができます。ダイヤルロックを設定すると、自営モード、公衆モード、トランシーバモードの各モードでは電話をかけることができません（110番、119番以外）。
また、電話を受けること、電源のON/OFFは行えますが、キーロック以外の登録操作は行えません。

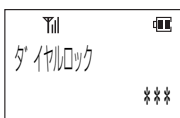
ダイヤルロックの設定

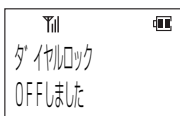
1 待ち受け状態で、決定ボタン、2 カ ABC 1 ア の順に押す。

「ダイヤルロック」が表示されます。

2 決定ボタンを押す。

3 暗証番号4桁を入力する。

ダイヤルロックが設定されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

ダイヤルロック
ONしました

ダイヤルロックの解除

1 暗証番号4桁を入力する。

2 決定ボタンを押す。

ダイヤルロックが解除されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

ワンポイント

- **暗証番号が登録されていないときは「ピピピピピ」という警告音が鳴り、ダイヤルロックを設定することはできません。<暗証番号を新規に登録する>（☛P94）**
- **ダイヤルロックの設定／解除を途中でやめたいときは、（☎）ボタンを押してください。**

お知らせ

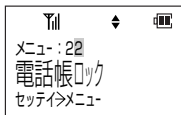
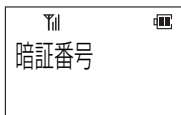
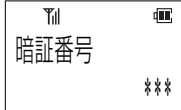
- 登録した暗証番号を忘れてしまったときは、当社のサービス取扱所にご相談ください。
- ダイヤルロック中に無効なボタンを押すと、ディスプレイに「ダイヤルロック」と表示され「ピピピピピ」という警告音が鳴ります。
- 公衆モードのときはダイヤルロック中でも警察（110）、消防（119）にかけることができます。
  ダイヤルロック中にダイヤルを押すと「＊＊＊」と表示されますが、（☎）ボタンを押すとディスプレイには「110」または「119」と表示されます。
- キーロックとダイヤルロックが両方とも設定されているときは、キーロックを解除したあとでダイヤルロックを解除してください。
- ダイヤルロック解除の操作の途中で6秒以上ボタンを押さないと、ディスプレイは待ち受け状態の表示に戻ります。

電話帳を開けないようにするには（電話帳ロック）

登録した暗証番号を入力して電話帳ロックを設定することができます。
電話帳ロックを設定すると、電話帳を開くことができません。
電話をかけたり受けたりすることや、電源のON/OFFは行えます。

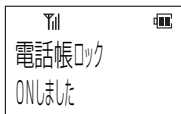
電話帳ロックを設定する

1 待ち受け状態で、決定ボタン、2カABC 2カABC の順に押す。

「電話帳ロック」が表示されます。

2 決定ボタンを押す。

3 暗証番号4桁を入力する。

電話帳ロック
ON
▶OFF

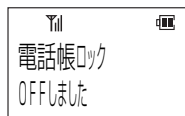
4 上ボタンで「ON」を選択する。

5 決定ボタンを押す。

電話帳ロックが設定されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

電話帳ロックを解除する

4 下ボタンで「OFF」を選択する。

5 決定ボタンを押す。

電話帳ロックが解除されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

ワンポイント

●電話帳ロックの設定解除を途中でやめたいときは、☎ ボタンを押します。

お知らせ

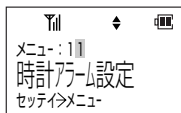
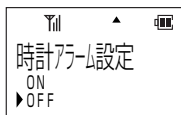
●電話帳ロック中に📖ボタンを押すと、液晶ディスプレイに「電話帳ロック」と表示されます。
●電話帳ロックの設定は、電源を切っても保持されます。
●キーロックまたはダイヤルロックと電話帳ロックが設定されているときは、キーロックまたはダイヤルロックを解除したあとで電話帳ロックを解除してください。
●登録した暗証番号を忘れてしまったときは、当社のサービス取扱所にご相談ください。

アラーム時刻を設定するには

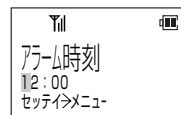
アラーム時刻を設定して、一度だけアラームを鳴らしたり、毎日同じ時刻にアラームを鳴らすことができます。アラームは設定した着信音と着信音量で1分間鳴ります。

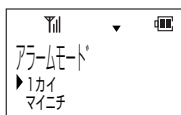
アラームを設定する

1 待ち受け状態で、決定ボタン、[1 ア] [1 ア] の順に押す。
「時計アラーム設定」が表示されます。

メニュー：11
時計アラーム設定
セッテイ⇒メニュー

2 決定ボタンを押す。

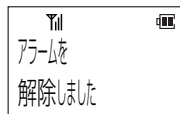
3 上ボタンで「ON」を選択する。

4 決定ボタンを押す。
「アラーム時刻」が表示されます。

5 アラーム時刻をダイヤルボタンで入力する。

6 決定ボタンを押す。
「アラームモード」が表示されます。

7 上下ボタンで「1カイ／マイニチ」を選択する。

8 決定ボタンを押す。
アラームが設定されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

アラームを解除する

3 下ボタンで「OFF」を選択して、決定ボタンを押す。
アラームが解除されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

ワンポイント

- アラームが設定されているときは、「A」ピクトが点灯します。
- アラーム鳴音はマナーモード時はマナー設定に従います。
- アラーム鳴音を停止するときは [☎] ボタンを押します。キーロック中でも [☎] ボタンを押すと、アラーム鳴音は停止します。
- アラーム時刻の設定は、電源を切っても保持されます。

32Kデータ通信を利用するには

32Kデータ通信用の市販アダプタなどを介して、パソコンやPDA（携帯情報端末）のデータ通信が利用できます。

- PIAFS（PHS Internet Access Forum Standard）準拠の伝送方式を採用しており、実効伝送速度は最大29.2 kbpsのデータ通信がご利用いただけます。
- 発信や着信の応答は、パソコンやPDAで操作します。操作の詳細や設定については、32Kデータ通信用アダプタなどの取扱説明書をご覧ください。

32Kデータ通信を設定する

1 32Kデータ通信用アダプタなどを利用して、パソコンなどとディジタルシステムコードレス電話機のデータコネクタを接続ケーブルで接続する。

2 パソコンなどを使って、32Kアダプタ（データカード）などを設定する。

ディジタルシステムコードレス電話機の32Kデータ通信の設定が自動的に行われます。
「ピピ」と鳴り、約2秒間「DATA通信OK」と表示されたあと、元の状態に戻ります。

DATA通信
OK

ワンポイント

- 接続ケーブルを接続したままでも、通常の音声通話は可能です。

お知らせ

- 接続ケーブルのプラグは十分に奥まで差し込んでください。
- 32Kデータ通信の発信、着信および通信中は、ボタン以外のディジタルシステムコードレス電話機での操作はすべて無効となります。
- パソコンでの操作以外に、ディジタルシステムコードレス電話機のボタンを押しても通信を終了することができます。
- ダイヤルロックが設定されているときは、発信できません。32Kデータ通信の発信をするときは、あらかじめダイヤルロックを解除してからパソコンやPDAを操作してください。
- 自営モードのとき、コードレス接続装置がバスタイプ接続装置の場合、32Kデータ通信はご利用できません。
- BX-RMでは、32Kデータ通信はご利用できません。

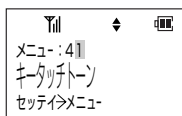
いろいろな機能を設定するには

ご使用方法にあわせて、ディジタルシステムコードレス電話機のいろいろな機能を設定することができます。

- 決定ボタンを押したときに表示されるメニュー項目は、「設定できる機能の一覧」(☛P115) でご確認ください。
- 操作を途中でやめたいときは [☎] ボタンを押してください。
- 操作の途中で約30秒間ボタンを押さないと設定は無効になります。もう一度最初からやり直してください。 [クリア] ボタンを押すと前の画面に戻ることができます。
- 登録操作中に電話がかかってくると登録は無効となり、着信音が鳴ります。通話が終わってからもう一度最初からやり直してください。

操作するときの音を消す（キータッチトーン）

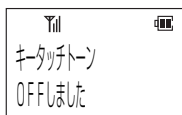
1 待ち受け状態で、決定ボタン、[4 タ GHI] [1 ア] の順に押す。

「キータッチトーン」が表示されます。

2 決定ボタンを押す。

「キータッチトーンON/OFF」が表示されます。

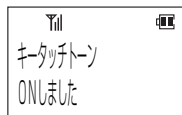
3 下ボタンでキータッチトーンの「OFF」を選択する。

4 決定ボタンを押す。

キータッチトーンがOFFに設定されます。「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

操作するときの音を出す（キータッチトーン）

3 上ボタンでキータッチトーンの「ON」を選択する。

4 決定ボタンを押す。

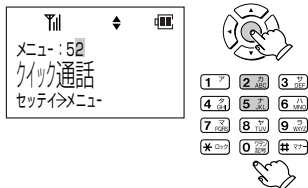
キータッチトーンがONに設定されます。「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

クイック通話を設定すると、電話をかけるとき、受けるとき、切るときの操作が次のようになります。

- 電話がかかってきたときは、充電器から取りあげたあとそのまま相手の方と通話できます。
- 通話が終わったらそのままディジタルシステムコードレス電話機を充電器に戻すと、自動的に通話が切れます。
- 待ち受け中に充電器から取りあげるだけで発信状態になります。

クイック通話を設定する

1 待ち受け状態で、決定ボタン、[5 ナ JKL] [2 カ ABC] の順に押す。

「クイック通話」が表示されます。

メニュー：52
クイック通話
セッテイ⇒メニュー

2 決定ボタンを押す。

「クイック通話ON/OFF」が表示されます。

クイック通話
ON
▶OFF

3 上ボタンで「ON」を選択する。

4 決定ボタンを押す。

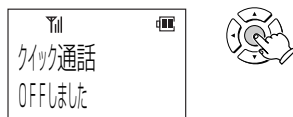
クイック通話が設定されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

クイック通話
ONしました

クイック通話を解除する

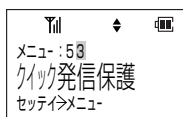
3 下ボタンで「OFF」を選択する。

4 決定ボタンを押す。

クイック通話が解除されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

いろいろな機能を設定するには

クイック発信保護を設定する

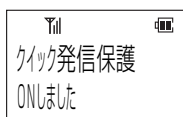
1 待ち受け状態で、決定ボタン、5 3 の順に押す。

「クイック発信保護」が表示されます。

2 決定ボタンを押す。

「クイック発信保護ON/OFF」が表示されます。

3 上ボタンで「ON」を選択する。

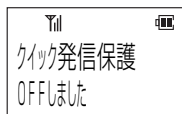
4 決定ボタンを押す。

クイック発信保護が設定されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

クイック発信保護
ONしました

クイック発信保護を解除する

3 下ボタンで「OFF」を選択する。

4 決定ボタンを押す。

クイック発信保護が解除されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

クイック発信保護
OFFしました

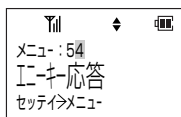
ワンポイント

●クイック発信保護をONにすると、ディジタルシステムコードレス電話機を充電器から取りあげたときにクイック通話による自動発信が行われた場合、その後約30秒間ボタンを押さないと自動的に回線が切れます。

ダイヤルを押すだけで着信に応答する（エニーキー応答）

1 **待ち受け状態で、決定ボタン、[5 ナ JKL] [4 タ GHI] の順に押す。**

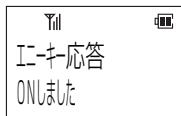
「エニーキー応答」が表示されます。

メニュー：54
エニーキー応答
セッテイ⇒メニュー

2 **決定ボタンを押す。**

「エニーキー応答ON/OFF」が表示されます。

3 **上ボタンで「ON」を選択する。**

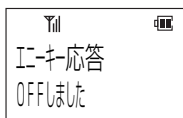
4 **決定ボタンを押す。**

エニーキー応答が登録されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

エニーキー応答
ONしました

エニーキー応答を解除する

3 **下ボタンで「OFF」を選択する。**

4 **決定ボタンを押す。**

エニーキー応答が解除されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

エニーキー応答
OFFしました

ワンポイント

- **エニーキー応答を設定すると、電話がかかってきたとき [0 ワラン 記号] ～ [9 ラ WXYZ] 、[＊ ロック] ボタンを押しても、電話に出ることができます。**

お知らせ

- キーロック中にエニーキー応答はできません。キーロック中に着信応答するには [☎] ボタンを1秒以上押し続けます。
- 自営モードでは、主装置の「システム設定」で着信自動応答が設定されていないと着信応答となりません。

いろいろな機能を設定するには

モデム通信を設定する

1 待ち受け状態で、決定ボタン、1 ア 5 ナ JKL の順に押す。

「モデム通信」が表示されます。

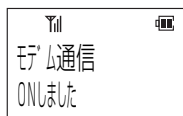
2 決定ボタンを押す。

「モデム通信ON/OFF」が表示されます。

3 上ボタンで「ON」を選択する。

4 決定ボタンを押す。

モデム通信が設定されます。

「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

モデム通信を解除する

3 下ボタンで「OFF」を選択する。

4 決定ボタンを押す。

モデム通信が解除されます。

「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

ワンポイント

- **モデム通信を設定すると、ディジタルシステムコードレス電話機のイヤホンマイク差込口に接続した市販モデムで、データ通信が行えます。**
- **ディジタルシステムコードレス電話機は、モデムからのダイヤルで電話をかけることはできません。まず通信ケーブルでイヤホンマイク差込口と市販モデムを接続してから、ディジタルシステムコードレス電話機で電話をかけたのちにモデム通信を開始してください。**
- **モデムを使用したデータ通信はモデム通信が設定され、イヤホンマイク差込口に通信ケーブルが差し込まれた状態で、通信可能となります。**

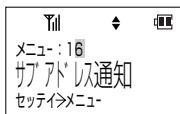
お知らせ

- イヤホンマイクを使用して通話を行う場合は、モデム通信を解除してください。
- 電源を切ると、モデム通信の設定が解除されます。
- モデム通信が終わりましたら、モデム通信の設定を「OFF」にしてから使用してください。
- モデム通信は周囲の環境により、データ誤りが発生することがあります。
- モデム通信中にキャッチホンなどの着信があるとデータ誤りが著しく発生し、正常に通信できなくなる場合があります。

サブアドレス通知を設定する

1 **待ち受け状態で、決定ボタン、[1 ア] [6 ハ MNO] の順に押す。**

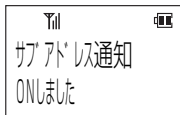
「サブアドレス通知」が表示されます。

メニュー：16
サブアドレス通知
セッテイ⇒メニュー

2 **決定ボタンを押す。**

「サブアドレス通知ON/OFF」が表示されます。

3 **上ボタンで「ON」を選択する。**

4 **決定ボタンを押す。**

サブアドレス通知が設定されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

サブアドレス通知
ONしました

サブアドレス通知を解除する

3 **下ボタンで「OFF」を選択する。**

4 **決定ボタンを押す。**

サブアドレス通知が解除されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

お知らせ

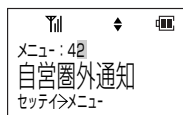
●内線電話機としてお使いのときは、OFFに設定してください。

ワンポイント

●ISDNサブアドレスを通知するように設定すると、PHSサービスを利用してISDN端末に電話をかけるときに、電話番号とサブアドレスの間に [✱ ロック] ボタンをダイヤルすることにより、サブアドレスを指定することができます。

いろいろな機能を設定するには

自営圏外通知を設定する

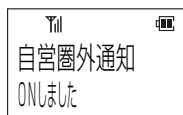
1 **待ち受け状態で、決定ボタン、[4 タ GHI] [2 カ ABC] の順に押す。**

「自営圏外通知」が表示されます。

2 **決定ボタンを押す。**

「自営圏外通知ON/OFF」が表示されます。

3 **上ボタンで「ON」を選択する。**

4 **決定ボタンを押す。**

自営圏外通知が設定されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

自営圏外通知
ONしました

自営圏外通知を解除する

3 **下ボタンで「OFF」を選択する。**

4 **決定ボタンを押す。**

自営圏外通知が解除されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

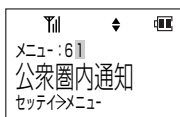
ワンポイント

- 自営圏外通知を設定すると、自営モードで圏外へ移動した場合に「ピー…ピー…ピー…」という音で通知します。

公衆のエリア内に入ったことを通知する（公衆圏内通知）

1 **待ち受け状態で、決定ボタン、[6 ハ MNO] [1 ア] の順に押す。**

「公衆圏内通知」が表示されます。

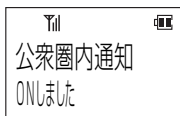
メニュー：61
公衆圏内通知
セッテイ⇒メニュー

2 **決定ボタンを押す。**

「公衆圏内通知ON/OFF」が表示されます。

公衆圏内通知
ON
▶OFF

3 **上ボタンで「ON」を選択する。**

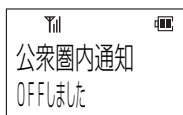
4 **決定ボタンを押す。**

公衆圏内通知が設定されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

公衆圏内通知
ONしました

公衆圏内通知を解除する

3 **下ボタンで「OFF」を選択する。**

4 **決定ボタンを押す。**

公衆圏内通知が解除されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

公衆圏内通知
OFFしました

ワンポイント

●公衆圏内通知を設定すると、公衆モード時にPHSサービスエリア内に入ったことを「ピピピピピ」という音が3回鳴ってお知らせします。

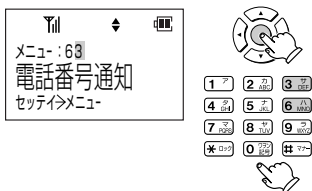
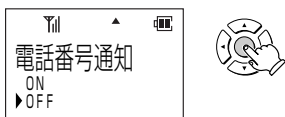
お知らせ

●公衆圏内通知は1回のみ行います。新たに通知を行いたいときは、もう一度設定してください。
●公衆圏内通知は電源を切ったときに自動的に取り消されます。新たに通知を行いたいときは、もう一度設定してください。

いろいろな機能を設定するには

電話番号通知を設定する

1 待ち受け状態で、決定ボタン、6（ハ MNO） 3（サ DEF） の順に押す。
「電話番号通知」が表示されます。

メニュー：63
電話番号通知
セッテイ⇒メニュー

2 決定ボタンを押す。
「電話番号通知ON/OFF」が表示されます。

電話番号通知
ON
▶OFF

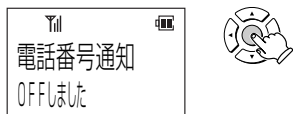
3 上ボタンで「ON」を選択する。

4 決定ボタンを押す。
電話番号通知が設定されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

電話番号通知
ONしました

電話番号通知を解除する

3 下ボタンで「OFF」を選択する。

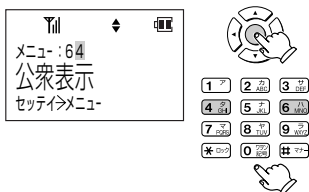
4 決定ボタンを押す。
電話番号通知が解除されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

電話番号通知
OFFしました

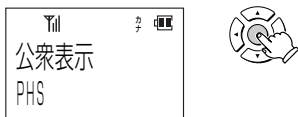
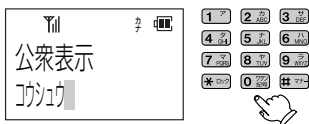
ワンポイント

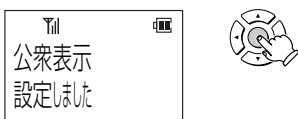
- 電話番号通知を設定すると、PHSサービスを利用して電話をかけたときに、相手の方のPHS電話機などのディスプレイにこちらのPHSサービスの電話番号を表示させることができます。
- 電話番号通知の設定は、別途PHS業者との契約が必要な場合もあります。

公衆モード時の液晶ディスプレイ表示を登録する

1 **待ち受け状態で、決定ボタン、[6 ハ MNO] [4 タ GHI] の順に押す。**

「公衆表示」が表示されます。

2 **決定ボタンを押す。**

現在登録されている名称が表示されます。

3 **左右ボタンでカーソルを移動し、新しい名称を入力する。**

4 **決定ボタンを押す。**

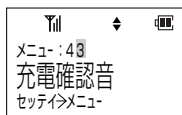
液晶ディスプレイ表示の名称が登録されます。「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

ワンポイント

- **文字を入力するには（☞P70）**
  ただし、漢字入力はできません。
- **公衆モードのとき、待ち受け状態の液晶ディスプレイの上段に登録された名称が表示されます。**

いろいろな機能を設定するには

充電確認音を設定する

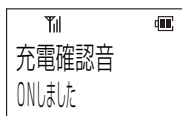
1 **待ち受け状態で、決定ボタン、[4 タ GHI] [3 サ DEF] の順に押す。**

「充電確認音」が表示されます。

2 **決定ボタンを押す。**

「充電確認音ON/OFF」が表示されます。

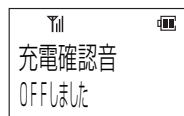
3 **上ボタンで「ON」を選択する。**

4 **決定ボタンを押す。**

充電確認音が設定されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

充電確認音を解除する

3 **下ボタンで「OFF」を選択する。**

4 **決定ボタンを押す。**

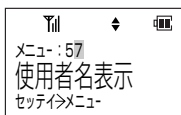
充電確認音が解除されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

ワンポイント

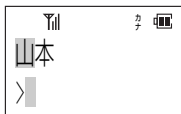
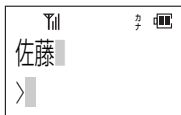
●充電確認音は、ディジタルシステムコードレス電話機が充電器に正しく置かれたことをお知らせするものです。

使用者名を登録する

1 **待ち受け状態で、決定ボタン、[5 ナ JKL] [7 マ PQRS] の順に押す。**

「使用者名表示」が表示されます。

メニュ-：57
使用者名表示
セッテイ⇒メニュ-

2 **決定ボタンを押す。**

現在登録されている名称が上段に表示されます。

3 **左右ボタンでカーソルを移動し、新しい名称を入力する。**

4 **決定ボタンを押す。**

使用者名が登録されます。
「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

ワンポイント

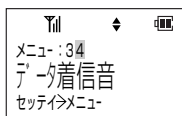
- **使用者名を登録すると、待ち受け状態のとき、液晶ディスプレイに使用者名が表示されます。**
- **文字を入力するには（☛P70）**

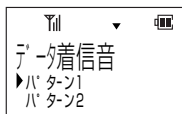
- 自営モードのときは接続されている主装置の表示機能が優先されます。

いろいろな機能を設定するには

データ着信音を設定する

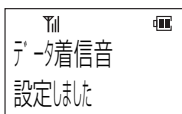
1 **待ち受け状態で、決定ボタン、3 サ DEF 4 タ GHI の順に押す。**

「データ着信音」が表示されます。

2 **決定ボタンを押す。**

設定できるデータ着信音が表示されます。

3 **上下ボタンで音の種類を選択する。**

4 **決定ボタンを押す。**

データ着信音が設定されます。

「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

ワンポイント

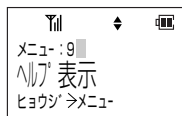
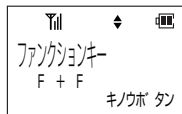
- **データ着信音を設定すると、32Kデータ通信の着信音を指定した種類で鳴らすことができます。**
- **選択できる着信音は以下のとおりです。**

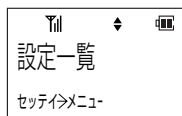
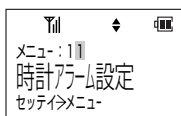
  パターン1〜6
  メロディ1：エンターテナー／ジョプリン
  メロディ2：四季〜春〜／ビバルディ
  メロディ3：軍隊行進曲／シューベルト
  メロディ4：アビニヨンの橋の上で／フランス民謡
  メロディ5：故郷の空／スコットランド民謡
  ショウオン（着信音を出しません）

操作が分からないときは（ヘルプ表示）

操作が分からないときや、使いかたを忘れたときにご利用ください。ヘルプを表示していろいろな機能を設定できます。

1 **待ち受け状態で、決定ボタン、9 ラ WXYZ の順に押す。**

「ヘルプ表示」が表示されます。

2 **決定ボタンを押す。**

3 **上下ボタンでヘルプ表示を切り替える。**

4 **設定一覧を見たいときは上下ボタンで「設定一覧」を選択する。**

5 **決定ボタンを押す。**

6 **上下ボタンで設定したい項目を選択し、決定ボタンを押す。**

選択した設定の操作ができます。

Q&A

この取扱説明書で説明している操作方法に関して、共通して役に立つ便利な操作や操作上の注意点などをまとめています。アイコンを目印にして、本文中から簡単に参照できるようになっています。

電話をかける／受ける

通　話

クイック通話が設定されているときは？

・ディジタルシステムコードレス電話機を充電器から取りあげると、内線の発信ができます。また、ディスプレイには「内線」と表示されます。

・スピーカ受話中に充電器に戻すと、通話は切れます。

PBXなどに接続しているときは？

・外線発信番号と相手の方の電話番号を押して電話をかけます。

主装置側で「プリセレクションサービス」を利用されているときは？

・外線ボタンを押したあとに、ボタンを押します。
・BX-RMでは、プリセレクションサービスはご利用できません。

表　示

液晶ディスプレイに表示される通話時間は？

・通話時間の表示は目安です。実際の通話時間とは異なる場合があります。

設定できる機能の一覧

登録操作は決定ボタンを押し、メニュー番号を入力して行います。また、決定ボタンを押したあと、上下ボタンで目的のメニューを表示することもできます。

表示	メニュー番号	機能の説明	初期値	参照ページ
自番号表示	0	内線番号の確認をします	－	☛P26
時計アラーム設定	11	アラーム時刻を設定します	－	☛P98
システム選択	12	システムを手動で切り替えます	－	☛P35
モード切替	13	動作モードを切り替えます	ジエイ	☛P25
マナー設定	14	マナーモード時の動作を設定します	(注1)	☛P91
モデム通信	15	モデム通信を設定します	OFF	☛P104
サブアドレス通知	16	サブアドレス通知を設定／解除します	OFF	☛P105
Trグループ登録	17	トランシーバグループを登録します	－	☛P68
ダイヤルロック	21	ダイヤルロックを設定／解除します	OFF	☛P96
電話帳ロック	22	電話帳ロックを設定／解除します	OFF	☛P97
電話帳全消去	23	電話帳の登録データをすべて消去します	－	☛P80
バイブレーション	31	バイブレーション着信を設定／解除します	OFF	☛P90
鳴音種別選択	32	着信音のパターンを切り替えます	－	☛P89
データ着信音	34	データ着信音を設定します	－	☛P112
話中着信音	35	自営モードで通話中の着信音を設定／解除します	ON	☛P57
キータッチトーン	41	キータッチトーンを設定／解除します	ON	☛P100
自営圏外通知	42	自営圏外通知を設定／解除します	OFF	☛P106
充電確認音	43	充電確認音を設定／解除します	ON	☛P110
時刻設定	51	時刻を設定します	－	☛P28
クイック通話	52	クイック通話を設定／解除します	OFF	☛P101
クイック発信保護	53	クイック発信保護を設定／解除します	OFF	☛P102
エニーキー応答	54	エニーキー応答を設定／解除します	OFF	☛P103
暗証番号登録	55	暗証番号を登録します	－	☛P94
トランシーバ番号	56	トランシーバ番号を設定します	－	☛P65
使用者名表示	57	使用者名を設定します	－	☛P111
電話帳グループ名	58	電話帳グループ名を設定します	－	☛P81
公衆圏内通知	61	公衆圏内通知を設定／解除します	OFF	☛P107
電話番号通知	63	電話番号通知を設定／解除します	ON	☛P108
公衆表示	64	公衆表示を設定します	－	☛P109
ヘルプ表示	9	ヘルプを表示します	－	☛P113

(注1)
　着信音　OFF
　確認／警告音　OFF
　バイブレーション　ON

●PHSの加入契約をされていない場合は、メニュー番号61、63、64のメニューは表示されません。
●「Trグループ登録」はトランシーバモード時のみ表示されます。

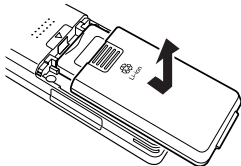
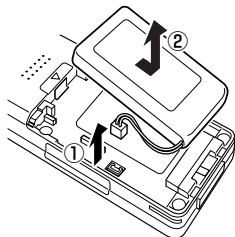
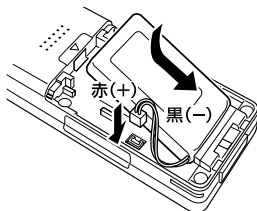
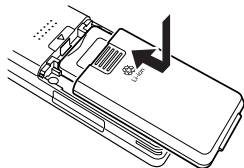
電池パックの取り扱い

電池パックは消耗品です。ディジタルシステムコードレス電話機の使用頻度にもよりますが、約2年程度ご使用になれます。長時間充電してもすぐに電池の残量がなくなる場合は、電池が消耗している可能性があります。新しい電池に交換してください。なお、ご購入についてはパーツサービスセンタ 0120-86-8289、またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

■電池パックを交換する

1 電源が入っているときは、電源ボタンを1秒以上押す。

電源が切れます。

2 電池カバーを取り外す。

3 コネクタを外し（①）、電池パックを取り出す（②）。

4 コネクタを差し込み、新しい電池パックを入れる。

5 電池カバーを取り付ける。

6 充電器に置き、7時間以上充電する。

お知らせ

- 電池パックをディジタルシステムコードレス電話機から取り外すときは、電池コードを引っ張らず、必ず電池パックのコネクタを手でつかんで取り外してください。
- 電池パックの交換は、必ず電源を切ってから行ってください。

⚠危険

- **電池パックについて**
  電池パックの取り扱いは、次の点にご注意ください。
  ・必ず専用のものをお使いください。
  ・取り出して充電しないでください。
  ・火の中に投入したり、分解・加熱しないでください。
  ・充電には、専用の充電器をお使いください。
  ・端子を短絡させないでください。

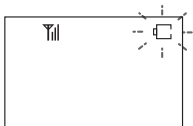
■電池パック回収のお願い

電池パックはリサイクル可能なリチウムイオン電池です。交換の際は当社のサービス取扱所へご持参いただくか、当社販売担当者にお渡しいただくなど、リサイクルの推進にご協力をお願いします。

電池の残量がなくなったときは

電池の残量がなくなったときは、ディジタルシステムコードレス電話機を充電してください。

1 **電池がなくなると「ピ…ピ…ピ……」という警報音が鳴り、液晶ディスプレイの マークが点滅する。**

通話中の場合は、すみやかに通話を終わらせてディジタルシステムコードレス電話機を充電してください。

ワンポイント

- 通話中に警報音が鳴ってもそのまま通話を続けると、約1分で電話が切れてしまいますのでご注意ください(電池パックの状態や周囲の温度などによってはそれよりも短い時間で切れてしまうこともあります)。
- 電池の状態や周囲の温度などの影響で、液晶ディスプレイの マークでまだ残っているように見えても、電池切れの警報音が鳴ることがあります。

オプションをご利用になるには

より便利にお使いになるためのオプションが用意されています。オプションをご利用になるときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。

■電池パック
（デンチパック-094）

ディジタルシステムコードレス電話機の電池パックを交換するときは、オプションの電池パックをご利用ください。

■ホルダ
（GX-DCL-コードレス電話機用ホルダー「1」）

ディジタルシステムコードレス電話機のソフトケースです。腰などにつけて持ち歩くことができます。

■ヘッドセット
（CT-ヘッドセット-039）

ディジタルシステムコードレス電話機のイヤホンマイク差込口に接続すると、両手を自由に使いながら通話ができます。

お知らせ

- ヘッドセットのプラグは、イヤホンマイク差込口にしっかりと奥まで差し込んでご使用ください。プラグがしっかりと差し込まれていないと、ハウリング音が発生することがあります。
- ヘッドセットをご使用になる場合は、モデム通信を解除してからお使いください。

ディジタルシステムコードレス電話機と他の内線標準電話機との違い（自営モードのとき）

ネットコミュニティシステムαGXシリーズ、ネットコミュニティシステムBXシリーズでは、ディジタルシステムコードレス接続装置を使うことで、ディジタルシステムコードレス電話機を内線電話機として使用できます。この場合、主装置のほとんどの機能はディジタルシステムコードレス電話機で利用できますが、一部お使いになれない機能もあります。

■制限される機能

スピーカを利用した以下の機能は使えません。
・音声によりディジタルシステムコードレス電話機を呼び出す機能（音声呼出、ハンズフリー通話、一斉放送など）
・簡易自動再発信
・着信音を保留音などで知らせる機能
以下のシステム設定は無効になります。
・着信音音色切替
・長周期鳴動
以下の機能はディジタルシステムコードレス電話機の機能が優先されるため、主装置の設定は無効になります。
・キータッチトーン

■確認音について

主装置の種類やサービス機能により、確認音がスピーカ口から聞こえる場合や、受話口から聞こえる場合があります。

■液晶ディスプレイ表示

・主装置で内線番号、名前表示機能が設定されている場合、ディジタルシステムコードレス電話機の使用者名表示は表示されません。
・最大16桁表示が可能ですが、接続装置の種類によっては、10桁または12桁分の表示のみとなります。

お知らせ

●他の内線標準電話機とは、液晶ディスプレイ付き24回線タイプの標準電話機などのことです。

通話できる範囲から外れたときは（圏外）

ディジタルシステムコードレス電話機が通話できる範囲から外れたときは、通話できる範囲まで移動してください。

■待ち受け中や電話をかけようとしたとき

お話しできる範囲から外れると、液晶ディスプレイの が消えます。 が表示される場所まで移動して、おかけ直しください。(☛P27) ただし、トランシーバモードでの待ち受け中は、液晶ディスプレイの は表示されません。

＜自営モード＞
あらかじめ、ディジタルシステムコードレス電話機で電話をかけて、ディジタルシステムコードレス接続装置からの電波の弱い場所を確認しておくことをお勧めします。なるべく電波の強い場所でご使用ください。

＜公衆モード＞
PHSサービスエリア内でないと、簡易型携帯電話として利用できません。

＜トランシーバモード＞
トランシーバ通話の相手の方が見通し距離約100 m以内か確認してください。

■お話し中のとき

お話しできる範囲から外れると、「ピー…ピー…ピー」という警報音が鳴ります。または、相手の声が聞こえなくなります。警報音が鳴らなくなる所（電波の強い場所）まで移動してください。(☛P27) ただし、トランシーバ通話のときは、警報音は鳴りません。

＜自営モード＞
ディジタルシステムコードレス接続装置に近づいて、警報音が鳴らなくなる電波の強い場所まで移動してください。

＜公衆モード＞
PHSサービスエリア内で、警報音が鳴らなくなる電波の強い場所まで移動してください。

＜トランシーバモード＞
トランシーバ通話の相手の方に近づいてください。

ワンポイント

●圏外でないのに「ツー…ツー」という音が聞こえるのは
- ・他のコードレス電話機がディジタルシステムコードレス接続装置のチャネルをすべて使っていて、空いているチャネルがないときには液晶ディスプレイに「混み合っています」と表示され、「ツー…ツー」という音が聞こえます。しばらく待ってから、おかけ直しください。
- ・電波が強い場所でもディジタルシステムコードレス接続装置や公衆基地局などに登録動作を自動的に行っているときは、 ボタンやダイヤルボタンを押しても受け付けられない場合があります。しばらく待ってから、おかけ直しください。

お知らせ

- ●お話し中に圏外になったときは、警報音が鳴ったあと、電話が切れますのでご注意ください。
- ●自営モードのときの圏外を知らせる警報音は、あらかじめ設定しておく必要があります。(☛P106)
- ●コンクリートパネル板で仕切られている場所など、周囲の状況によってお話しできる範囲が狭くなることがあります。
- ●警報音が鳴っているときは、お話しすることができません。

こんな音がしたら

ディジタルシステムコードレス電話機から聞こえる音には、以下の意味があります。

●受話口から聞こえる音

音	ディジタルシステムコードレス電話機	音の意味
ツーツー…（内線発信音）	自営モードまたはトランシーバモードで充電器から取りあげるか、[☎]ボタンを押したとき	他の内線電話機を呼び出せます
ツー（外線発信音）	自営モードで外線ボタンを押したとき、または公衆モードで[☎]ボタンを押したとき	電話をかけられます
プルプルプル…プルプルプル（呼出音）	外線または内線で相手を呼び出しているとき	相手の方を呼び出しています（自営モードとトランシーバモードとでは音が少し違います）
プープー…（話中音）	電話をかけた相手の方がお話し中のとき、または他の内線電話機や他のディジタルコードレス電話機などがお話し中のとき	お話し中です
ツー…ツー…（空きチャネルがないとき）	ディジタルシステムコードレス接続装置の空きチャネルがないとき	他のディジタルシステムコードレス電話機がディジタルシステムコードレス接続装置のすべてのチャネルを使っています
ツツ…ツツ…（公衆保留音）	公衆モードでお話し中に(保留)ボタンを押したとき	電話を保留にしています
プププ…（ゾーン切替音）	ディジタルシステムコードレス接続装置間を移動しているとき、または接続装置の切り替えを行っているとき	ディジタルシステムコードレス接続装置、または公衆基地局などに近づいてください。
プー（約1秒間）（通話休止予告音）	トランシーバモードでお話し中のとき（約3分ごとに約3秒間聞こえます）	この音が聞こえた約20秒後に、約3秒間通話が途切れます
ププ、ププ…（約3秒間）（通話休止中音）	トランシーバモードでお話し中のとき（約3分ごとに聞こえます）	約3秒間通話が途切れます
ツツツツツツ…（接続中音）	電話をかけたとき	相手の方を呼び出すまでの間、聞こえます

●スピーカ口から聞こえる音

音	ディジタルシステムコードレス電話機	音の意味
ピー…ピー…ピー（圏外警報音）	待ち受け中にお話しできる範囲から外れたとき	ディジタルシステムコードレス接続装置、または公衆基地局などに近づいてください
ピピピピピ（3回）（公衆圏内通知音）	公衆モードで圏外からPHSサービスエリア内に入ったとき	公衆モードで電話がかけられます
ピ…ピ…ピ…（電池残量警報音）	電池残量が規定値以下になったとき	充電器に置いて充電してください
ピピ（確認音）	登録操作がうまくできたとき	登録操作が正しく行われました
ピピピピピ（警報音）	登録操作がうまくできなかったとき	登録操作が間違っています
ピピピ…ピピピ…（内線着信音）	内線で呼び出されているとき	内線で呼び出されています
ピピピピピピピピ…（外線着信音）	外の相手の方から電話がかかってきたとき	電話がかかってきています
ピー…ピー…ピー…ピー…（トランシーバ着信音）	トランシーバモードで呼び出されているとき	トランシーバモードで呼び出されています
ピッ（電源投入確認音）	電源を入れたとき	電源が入りました
ピッ（キータッチトーン）	ボタンを押したとき	ボタンが押されました

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったときは、修理に出す前に以下の点をご確認ください。

●基本的な使いかた

こんなときは	原　因	確認してください	参照ページ
動作しない	電源ボタンを1秒以上押していない	電源ボタンを1秒以上押してください	☛P22
	バッテリ切れになっている	充電してください	☛P23
	電池パックが正しく接続されていない	電池パックを正しく接続してください	☛P22
	ディジタルシステムコードレス接続装置などから離れすぎている	ディジタルシステムコードレス接続装置などに近づいてください	☛P27
	停電のため	故障ではありません	☛P124
電話がかけられない	ディジタルシステムコードレス接続装置などから離れすぎている	ディジタルシステムコードレス接続装置などに近づいてください	☛P27
	モード設定が異なっている	正しいモードに切り替えてください	☛P24
	キーロックが設定されている	キーロックを解除してください	☛P93
	ダイヤルロックが設定されている	ダイヤルロックを解除してください	☛P96
	回線がいっぱいになっている	少し待ってからかけ直してみてください	−
	高速で移動しながら電話をしている	ディジタルシステムコードレス電話機は乗り物などに乗って高速で移動しているときは使用できません 停止してかけ直してみてください	☛P60
電話帳が使えない	電話帳ロックが設定されている	電話帳ロックを解除してください	☛P97
着信音が鳴らない	不在着信転送が設定されている	不在着信転送を解除してください	−
	着信拒否が設定されている	着信拒否を解除してください	−
	着信音量を「OFF」に設定している	着信音量設定を「小」「中」「大」「ステップトーン」のいずれかに切り替えてください	☛P32
	モード設定が異なっている	正しいモードに切り替えてください	☛P24
	電池残量が少なくなっている	充電してください	☛P23
	ディジタルシステムコードレス電話機の電源が入っていない	電源ボタンを1秒以上押してください	☛P22
	ディジタルシステムコードレス接続装置などから離れすぎている	ディジタルシステムコードレス接続装置などに近づいてください	☛P27
	近くに雑音を発生する家電製品などがある	家電製品などから離してください	☛P8
通話が突然切れた	電波が届かないため	電波の届く場所に移動してかけ直してください	☛P27
	電池残量が少なくなった	充電してください	☛P23
通話に雑音が入ったり、お話しが途切れる	ディジタルシステムコードレス接続装置などから離れすぎている	ディジタルシステムコードレス接続装置などに近づいてください	☛P27
	電波の弱いところにいる	通話に雑音が入らないところやお話しが途切れないところ（電波の強いところ）に移動してお話しください	☛P120
	近くに雑音を発生する家電製品などがある	家電製品などから離してください	☛P8
	ディジタルシステムコードレス接続装置などとの間に障害物がある	場所を変えてお話ししてみてください	☛P120
相手の声が小さい	受話音量を小さく設定している	受話音量を上げてみてください	☛P29
	受話口に耳がきちんと当たっていない	耳をきちんと受話口に当ててください	−

こんなときは	原　因	確認してください	参照ページ
お話し中の相手の声が大きすぎる、ひずんで聞こえる	受話音量を大きく設定しすぎている	受話音量を下げてみてください	☛P29
無線機の音が混信して聞こえる	近くに無線機などがある	場所を変えてお話ししてみてください	－
着信音が小さい	着信音量を小さく設定している	着信音量を上げてみてください	☛P32
着信音が大きすぎる	着信音量を大きく設定しすぎている	着信音量を下げてみてください	☛P32
充電器に置いても充電ランプが点灯しない	充電器の電源プラグがコンセントから外れている	電源プラグをきちんとコンセントへ差し込んでください	☛P23
	充電器に正しく置かれていない	充電器に正しく置いてください	☛P23
	電池パックが正しく接続されていない	電池パックを正しく接続してください	☛P22
	充電器の電源コードが傷んでいる	電源プラグをコンセントから抜いて当社のサービス取扱所へご相談ください	－
充電ランプが点滅する	充電器に正しく置かれていない	充電器に正しく置いてください	☛P23
	電池パックが正しく接続されていない	電池パックを正しく接続してください	☛P22
	電池が寿命のため	電池パックを交換してください	☛P116
7時間以上充電しても、すぐに使えなくなる	充電器に正しく置かれていない	正しく充電器に置いてください	☛P23
	電池が寿命のため	電池パックを交換してください	☛P116
さわるとあたたかい	充電されたため	故障ではありません	☛P23

●公衆モード

こんなときは	原　因	確認してください	参照ページ
動作しない	PHSサービスの公衆基地局から離れすぎている	PHSサービスエリア内に移動してください	☛P120
電話がかけられない	PHSサービスの公衆基地局から離れすぎている	PHSサービスエリア内に移動してください	☛P120
着信音が鳴らない	PHSサービスの公衆基地局から離れすぎている	PHSサービスエリア内に移動してください	☛P120
	「公衆モード」に設定されていない	「公衆モード」に設定してください	☛P24
通話に雑音が入ったり、お話しが途切れる	PHSサービスの公衆基地局から離れすぎている	PHSサービスエリア内に移動してください	☛P120
	PHSサービスの電波の弱いところにいる	通話に雑音が入らないところやお話しが途切れないところ（電波の強いところ）に移動してください	☛P27
	PHSサービスの公衆基地局との間に障害物がある	できるだけ障害物がないところへ移動してお話しください	☛P8

●トランシーバモード

こんなときは	原　因	確認してください	参照ページ
他のディジタルシステムコードレス電話機を呼び出せない	「トランシーバモード」に設定されていない	両方のディジタルシステムコードレス電話機を「トランシーバモード」に設定してください	☛P24
	呼び出す方と呼び出される方が離れすぎている	見通し距離で約100 m以内に近づいてください	☛P64
	「トランシーバモード」の番号や登録が合っていない	「トランシーバモード」の番号をもう一度登録してください	☛P65

停電になったとき

停電中は、ディジタルシステムコードレス接続装置の電源が切れてしまうため、ディジタルシステムコードレス接続装置のモードでは、ディジタルシステムコードレス電話機を使用することはできません。

●停電になったときは

外の相手の方とお話し中	電話は切れます
保留中	保留中が解除され、電話は切れます
内線通話中	お話しは切れます

索　引

数字・アルファベット

32Kデータ通信を利用する・・・・・・・・・99
50音順で検索してかける・・・・・・・・・・74
DP→PB切替・・・・・・・・・・・・・・・52
F／カナ／英ボタン・・・・・・・・・・・・・18
INSネット64サービス・・・・・・・・・・・56
ISDN端末等にサブアドレスを送る・・・・・59
PBXなどに接続されているとき・・・・・・114
PHSサービス
　PHSサービスエリアに入ったときの
　　通知音を鳴らす・・・・・・・・・・・・107
　PHSサービスで利用できる機能・・・・・59
　PHSサービスの利用・・・・・・・・・・58
　通話を保留する・・・・・・・・・・・・・62
　電話を受ける・・・・・・・・・・・・・・61
　電話をかける・・・・・・・・・・・・・・60
PIAFS・・・・・・・・・・・・・・・・・・99

五十音

【ア行】
空いている外線を選んで電話をかける・・・・53
相手の方に待っていただく・・・・・・・41,62
空き外線自動捕捉・・・・・・・・・・・・・53
アラーム・・・・・・・・・・・・・・・・56,98
　アラームを解除する・・・・・・・・・・・98
　アラームを設定する・・・・・・・・・・・98
暗証番号
　暗証番号が登録されていないとき・・・・96
　暗証番号を登録する・・・・・・・・・・・94
　暗証番号を変更する・・・・・・・・・・・95
　暗証番号を間違えて押したとき・・・・94,95
アンテナ・・・・・・・・・・・・・・・・・18
イヤホンマイク差込口・・・・・・・・・・・18
いろいろな機能を設定するには・・・・・・100
上ボタン・・・・・・・・・・・・・・・・・18
液晶ディスプレイ・・・・・・・・・・・18,20
液晶バックライト・・・・・・・・・・・・・19
エニーキー応答・・・・・・・・・・・・・103
同じ相手にかけ直す・・・・・・・・・・・・44
同じパーク保留ボタンを設定した
　電話機で取れるように保留する・・・・・・43
オプション・・・・・・・・・・・・・・・118
音声ページング・・・・・・・・・・・・・・55
音量
　受話音量を調節する・・・・・・・・・・・29
　スピーカ音量を調節する・・・・・・・・・31
　着信音量を調節する・・・・・・・・・・・32

【カ行】
回線種別・・・・・・・・・・・・・・・・・56
外線群指定発信・・・・・・・・・・・・・・53
外線着信・・・・・・・・・・・・・・・・・39
外線発信・・・・・・・・・・・・・・・37,53
外線ボタン・・・・・・・・・・・・・・・・18
外線ランプ・・・・・・・・・・・・・・・・19
外部スピーカで音声ページングする・・・・55
各部の名前・・・・・・・・・・・・・・・・18
キータッチトーン・・・・・・・・・・・・100
キーロック・・・・・・・・・・・・・・・・93
　キーロック中に電話がかかってきたとき・93
　キーロックの設定・・・・・・・・・・・・93
共通短縮ダイヤルの電話番号を
　確認してから電話をかける・・・・・・・・48
共通保留・・・・・・・・・・・・・・・・・41
切／電源ボタン・・・・・・・・・・・・・・18
クイック通話の設定・・・・・・・・・・・101
クイック発信保護の設定・・・・・・・・・102
クリアボタン・・・・・・・・・・・・・・・18
決定ボタン・・・・・・・・・・・・・・・・18
圏外・・・・・・・・・・・・・・・・・・120
公衆圏内通知・・・・・・・・・・・・・・107
公衆モード・・・・・・・・・・・・・・・・58
　公衆モード時の液晶ディスプレイ表示を
　　登録する・・・・・・・・・・・・・・109
口頭転送・・・・・・・・・・・・・・・41,49
故障かな？と思ったら・・・・・・・・・・122
誤操作を防止するには・・・・・・・・・・・93
個別短縮ダイヤルについて・・・・・・・・・48
個別保留・・・・・・・・・・・・・・・・・42
こんな音がしたら・・・・・・・・・・・・121

索　引

【サ行】

サービス機能の登録状態を表示する ・・・・・ 56
再ダイヤル ・・・・・・・・・・・・・・・・ 44
　電話番号を確認してから再ダイヤルする ・ 44
索線ボタン ・・・・・・・・・・・・・・・・ 54
　索線ボタンを使って電話をかける ・・・・ 54
索線ランプ ・・・・・・・・・・・・・・・・ 54
サブアドレス
　サブアドレス通知を解除する・・・・・・ 105
　サブアドレス通知を設定する・・・・・・ 105
自営圏外通知 ・・・・・・・・・・・・・・ 106
自営モード ・・・・・・・・・・・・・・・ 24,34
　自営モードとは ・・・・・・・・・・・・・ 34
自営モード時、エリアから外れたときに
通知音を鳴らす ・・・・・・・・・・・・・ 106
識別着信サービス ・・・・・・・・・・・・・ 56
事業所（システム）の選択 ・・・・・・・ 34,35
時刻の設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
システムモード ・・・・・・・・・・・・・・ 56
下ボタン ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
自動発信可能な外線の中から選ぶ ・・・・・・ 53
充電
　充電確認音の設定 ・・・・・・・・・・・・ 110
　充電器 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
　充電する ・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
充電器からあげてかける ・・・・・・・・・ 101
受話口 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 129
使用者名をディスプレイに表示する ・・・・ 111
スタッキングダイヤル ・・・・・・・・・・・ 44
ステップトーン ・・・・・・・・・・・・・・ 32
スピーカ口 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
スピーカ受話に切り替える ・・・・・・・・・ 30
制限される機能 ・・・・・・・・・・・・・ 119
接続装置の自動選択 ・・・・・・・・・・・・ 36
設置について ・・・・・・・・・・・・・ 4,7,8
設定できる機能の一覧 ・・・・・・・・・・ 115
セットの確認 ・・・・・・・・・・・・・・・ 17
操作が分からないとき ・・・・・・・・・・ 113
操作するときの音の設定 ・・・・・・・・・ 100
送話口（マイク） ・・・・・・・・・・・・・ 18

【タ行】

ダイヤルボタン ・・・・・・・・・・・・・・ 18
ダイヤルライト ・・・・・・・・・・・・・・ 19
ダイヤルロックの設定 ・・・・・・・・・・・ 96
ダイヤルを押すだけで着信に応答する ・・・ 103
代理応答 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51
短縮ダイヤル ・・・・・・・・・・・・・・・ 48
　共通短縮ダイヤルで電話をかける ・・・・ 48
　プリセットダイヤル ・・・・・・・・・・・ 48
着信
　着信拒否 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 56
　着信記録 ・・・・・・・・・・・・・・ 59,86
　着信記録の削除 ・・・・・・・・・・・・・ 88
　着信／充電ランプ ・・・・・・・・・・・・ 19
　着信を振動でお知らせする ・・・・・・・・ 90
着信音
　着信音量を「OFF」に設定する ・・・・・ 32
　着信音量を調節する ・・・・・・・・・・・ 32
　着信音を順次大きくなるようにする ・・・ 32
　着信の種類ごとに音を変える ・・・・・・・ 89
着信記録として記録されている
電話番号を登録する ・・・・・・・・・・・・ 82
着信履歴ボタン ・・・・・・・・・・・・・・ 18
長時間保留警報 ・・・・・・・・・・・・・・ 41
通話時間 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 114
通話できる範囲から外れたとき ・・・・・・ 120
通話／フックボタン ・・・・・・・・・・・・ 18
使える事業所（システム）の数 ・・・・・・ 34
続けて電話をかける ・・・・・・・・・・・・ 38
ディジタルシステムコードレス電話機と
他の内線標準電話機との違い ・・・・・・・ 119
停電になったとき ・・・・・・・・・・・・ 124
データコネクタ部 ・・・・・・・・・・・・・ 18
データ着信音の設定 ・・・・・・・・・・・ 112
デュアルモード ・・・・・・・・・・・・・・ 24
　デュアルモードでPHSサービスを利用して
　電話をかける ・・・・・・・・・・・・・・ 63
電源
　電源を入れながらモードを選択する ・・・ 25
　電源を入れる ・・・・・・・・・・・・・・ 22
　電源を切る ・・・・・・・・・・・・・・・ 22

電池
使用可能時間の目安 ・・・・・・・・・・・27
電池カバー ・・・・・・・・・・・・・・・22
電池残量を確認する ・・・・・・・・・・・27
電池の残量がなくなったとき・・・・・・117
電池パック・・・・・・・・・・・・・・・・・・118
電池パック回収のお願い・・・・・・・・116
電池パックの取り扱い・・・・・・・・・116
電池パックを交換する・・・・・・・・・116
電波の状態を確認する ・・・・・・・・・・・27
電話がかかってきたとき ・・・・・・・・39,61
電話帳ダイヤル ・・・・・・・・・・・・・・・72
50音順で検索してかける ・・・・・・・・74
すべての電話帳ダイヤルを削除する ・・・80
電話帳グループの電話番号を
検索してかける ・・・・・・・・・・ 76
電話帳グループの名前をつける ・・・・・81
電話帳ダイヤルを1件ずつ削除する・・・・79
電話帳ダイヤルを検索する ・・・・・・・74
電話帳ダイヤルを修正する ・・・・・・・78
電話帳ダイヤルを登録する ・・・・・・・72
電話帳を開けないようにする ・・・・・・97
読み仮名を検索してかける ・・・・・・・75
電話帳ボタン ・・・・・・・・・・・・・・・・18
電話帳ロック ・・・・・・・・・・・・・・・・97
電話帳ロックを解除する ・・・・・・・・97
電話帳ロックを設定する ・・・・・・・・97
電話番号通知・・・・・・・・・・・・・・・・108
電話番号にポーズ（待ち時間）を入れて
登録する ・・・・・・・・・・・・・・・・ 73
電話番号を確認する ・・・・・・・・・・・・26
電話番号を確認してからかける ・・38,44,47,48
電話番号を組み合わせてかける・・・・・・・83
電話をかけた相手に自分のPHSサービスの
電話番号を通知する ・・・・・・・・・・・108
電話をかけてきた相手にこちらからかける・・・86
電話をかけられないようにする・・・・・・・96
電話をかける・・・・・・・・・・・・・・・37,60
空いている外線を選んで電話をかける ・・53
同じ相手にかけ直す ・・・・・・・・・・・44
充電器からあげてかける・・・・・・・・101
短縮ダイヤルで電話をかける ・・・・・・48
続けて電話をかける ・・・・・・・・・・38
電話帳ダイヤルでかける ・・・・・・・・74
電話番号を確認してからかける ・・38,44,47,48
電話をかけてきた相手にこちらからかける・・86
ワンタッチダイヤルでかける ・・・・・・47
電話を取りつぐ ・・・・・・・・・・・・・・49
盗聴防止 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
特長・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
特番（〜用の番号）・・・・・・・・・・・・・12
トランシーバモード ・・・・・・・・・・・・64
トランシーバグループ登録を解除する ・・69
トランシーバグループを登録する ・・・・68
トランシーバモードの番号が
設定できなかったとき ・・・・・・・・65
トランシーバモードの番号で
電話を受ける ・・・・・・・・・・・・67
トランシーバモードの番号で
電話をかける ・・・・・・・・・・・・66
トランシーバモードの番号の設定 ・・・・65
トランシーバモードの利用 ・・・・・・・64
取扱説明書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・11

【ナ行】
内線通話 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・50
内線通話を保留する・・・・・・・・・41,42
内線でお話しする ・・・・・・・・・・・・・50
内線ボタン ・・・・・・・・・・・・・・・・・18
内線ランプ ・・・・・・・・・・・・・・・・・19

【ハ行】
パーク保留 ・・・・・・・・・・・・・・・・・43
パーク保留ボタン ・・・・・・・・・・・43
パーク保留ランプ ・・・・・・・・・・・43
バイブレーション着信 ・・・・・・・・・・・90
パソコンやPDA（携帯情報端末）の
データ通信を利用する ・・・・・・・・・・99
発信記録 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・84
発信記録の削除 ・・・・・・・・・・・・・・85

索　引

発信自動捕捉 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・37
発信履歴ボタン ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
ハンドストラップ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
　ハンドストラップ取付穴 ・・・・・・・・・18
　ハンドストラップを取り付ける ・・・・・23
左ボタン ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
昼モード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・56
不在 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・56
不在転送 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・56
普通に保留する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・41
プッシュホンサービスの種類 ・・・・・・・・52
プッシュホンサービスを利用する ・・・・・・52
プリセットダイヤル ・・・・・・・38,44,47,48
プリセレクションサービス ・・・・・・・・・114
ヘッドセット ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・118
別の電話機で応対する ・・・・・・・・49,50,51
ヘルプ表示 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・113
他の電話機で取れないように保留する ・・・・42
保守サービス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・130
保留 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・41,62
　同じパーク保留ボタンを設定した
　　電話機で取れるように保留する ・・・・43
　他の電話機で取れないように保留する ・・42
　普通に保留する ・・・・・・・・・・・・・・・・・41
保留転送 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・49
　相手の方とのお話しに戻る ・・・・・・・・49
　呼び出された方の応答を待たずに
　　転送する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・49
　呼び出される方が近くにいるとき ・・・・49
保留ボタン ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
ホルダ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・118

【マ行】
前に電話をかけた相手に再びかける ・・・・・84
待ち受け状態とは ・・・・・・・・・・・・・・・・・25
マナーモード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・91
　マナーモードの機能の設定 ・・・・・・・・・91
　マナーモードの設定 ・・・・・・・・・・・・・92
右ボタン ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
メニュー機能の操作 ・・・・・・・・・・・・・・・33
モード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24
　モードを切り替える ・・・・・・・・・・・・・25
　モードを設定する ・・・・・・・・・・・・・・・24
文字を入力する
　英字モード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・70
　カタカナモード ・・・・・・・・・・・・・・・・・70
　数字モード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・71
　入力文字を修正する ・・・・・・・・・・・・・71
モデム通信 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・104

【ヤ行】
呼出状態転送 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・49
夜モード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・56

【ラ行】
ランプ表示 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
利用できないとき ・・・・・・・・・・・・・・・・・21

【ワ行】
話中着信音 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・57
ワンタッチダイヤル ・・・・・・・・・・・・・45,46
　電話番号を確認してからかける ・・・・・47
　登録した番号を変更する ・・・・・・・45,46
　ワンタッチダイヤルを登録する ・・・・45,46
　ワンタッチダイヤルでかける ・・・・・・・47

仕　様

■仕　様

	電話機本体	充電器
寸法･質量	45 mm(幅)×20.5 mm(奥行)×140 mm (高さ)(アンテナおよび突起部を含まず) 約95 g(電池パックを含む)	70 mm(幅)×80 mm(奥行)×53.5 mm (高さ) 約120 g(電源コード含む)
使用電源	専用リチウムイオン電池　DC3.7 V　720 mAh	AC100 V(50/60 Hz)
消費電力	約0.4 VA	約1 VA
連続通話時間	約4.5時間	―――
連続待ち受け時間	約320時間	―――

- 連続通話時間は常温での算出値です。周囲温度や電池の状態によって変わります。
- 連続待ち受け時間は、自営モードで接続装置からの電波が安定している場所における算出値です。モードが異なる場合や電波の弱い場所、電波の届かない場所では電池の消耗が多いため、表中の数値とは異なります。
- 仕様および外観は、性能改善等により予告なく変更する場合があります。

保守サービスのご案内

■保守サービスのご案内

●保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理しますので、「保証書」は大切に保管してください。
（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。
当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	●毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	●修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へお伺いするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ●当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へお伺いするための費用が不要となります。

●故障の場合は

故障した場合のお問い合わせは局番なしの113番へご連絡ください。

●お話し中調べは

お話し中調べは局番なしの114番へご連絡ください。

●その他

定額保守サービス料金については、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：フリーアクセス 0120-970413
(03-5667-7100※)
※携帯電話・PHS・050IP電話用　通話料金がかかります

受付時間　9：00～21：00
※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：フリーダイヤル 0120-109217（トークニイーナ）
※携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
東海・北陸・近畿・中国・四国地区
06-6341-5411（通話料金がかかります）
九州地区
092-720-4862（通話料金がかかります）

受付時間　9：00～21：00
※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

●補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しています。

電池パック（デンチパック-094）は、環境保全のため、交換の際は当社のサービス取扱所へご持参いただくか、当社販売担当者にお渡しいただくなど、リサイクルの推進にご協力をお願いします。

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

環境を考えて大豆インクを使用しています

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ： http://web116.jp/ced/
http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：フリーアクセス 0120-970413
（03-5667-7100※）
※携帯電話・PHS・050IP電話用　通話料金がかかります

受付時間　9：00～21：00
※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：フリーダイヤル 0120-109217（トークニイーナ）
※携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
東海・北陸・近畿・中国・四国地区
06-6341-5411（通話料金がかかります）
九州地区
092-720-4862（通話料金がかかります）

受付時間　9：00～21：00
※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

本2744-4（2008.2）
GX-DCL-PSトリセツ-〈2〉